

132,1

臣綱範局

第二編

昭和五年四月廿四日接受

5.4.25

機密公第ニ方ニ號

昭和五年四月十七日

別紙添付

在吉林

總領事

石射猪太



外務大臣岡田啓原事重郎殿

在外朝鮮人ノ共產主義刊行物ニ関スル件

本年二月十九日付亞ニ機密合第一九五號貴信御未示ニ基
キ在外朝鮮人ノ共產主義刊行物ニシテ當地ニ於テ
發行スルモノ及他地方ヨリ頒布シ来タルモノ等

調査シタル處別表ノ通りニ付此般報告申進ス
本信寫送付先 北平、奉天、天津、間島、ハルビン、長春、

海龍、通化、

関東長官、朝鮮總督

BII

I-0850

朝鮮人發行出版係ル共產主義刊行物(秘密出版共)調査第一

新聞雑誌

名	種	創刊年月日	発行日	発行所	経管者氏名	記事内容	紙面枚数	摘要
ボルネオウィキ	新聞	一九二九	不定期	ボルネオウィキ社 ボルネオウィキ社 ボルネオウィキ社	朝鮮共產党 再建機關部 (海峽殖民地)	朝鮮文 藝主義 記事	四頁外	本誌表紙外面ハ 「朝鮮基督教傳道會 報」ト標題シ見家 國休会報ナリ如 北ニ共ニ眼ヲ 北ニ共ニ眼ヲ
朝鮮労働新聞	新聞	一九二九	不定期	朝鮮労働新聞社 朝鮮労働新聞社 朝鮮労働新聞社	朝鮮共產党 再建機關部 (海峽殖民地)	朝鮮文 藝主義 記事	四頁外	本誌表紙外面ハ 「朝鮮基督教傳道會 報」ト標題シ見家 國休会報ナリ如 北ニ共ニ眼ヲ 北ニ共ニ眼ヲ
階級闘争	新聞	一九二九	不定期	階級闘争社 階級闘争社 階級闘争社	朝鮮共產党 再建機關部 (海峽殖民地)	朝鮮文 藝主義 記事	四頁外	本誌表紙外面ハ 「朝鮮基督教傳道會 報」ト標題シ見家 國休会報ナリ如 北ニ共ニ眼ヲ 北ニ共ニ眼ヲ
共産青年	新聞	一九二九	不定期	共産青年社 共産青年社 共産青年社	朝鮮共產党 再建機關部 (海峽殖民地)	朝鮮文 藝主義 記事	四頁外	本誌表紙外面ハ 「朝鮮基督教傳道會 報」ト標題シ見家 國休会報ナリ如 北ニ共ニ眼ヲ 北ニ共ニ眼ヲ

BII

青年前衛	少年探險	農民運動	農友通信	モール	噴火口
一九二八	一九二九	一九二九	一九二九	一九二九	一九二九
不定期	月刊	月刊	旬刊	不定期	月刊
朝鮮労働新聞社	朝鮮労働新聞社	朝鮮労働新聞社	朝鮮労働新聞社	朝鮮労働新聞社	朝鮮労働新聞社
朝鮮労働新聞社	朝鮮労働新聞社	朝鮮労働新聞社	朝鮮労働新聞社	朝鮮労働新聞社	朝鮮労働新聞社
朝鮮労働新聞社	朝鮮労働新聞社	朝鮮労働新聞社	朝鮮労働新聞社	朝鮮労働新聞社	朝鮮労働新聞社
朝鮮労働新聞社	朝鮮労働新聞社	朝鮮労働新聞社	朝鮮労働新聞社	朝鮮労働新聞社	朝鮮労働新聞社
朝鮮労働新聞社	朝鮮労働新聞社	朝鮮労働新聞社	朝鮮労働新聞社	朝鮮労働新聞社	朝鮮労働新聞社
朝鮮労働新聞社	朝鮮労働新聞社	朝鮮労働新聞社	朝鮮労働新聞社	朝鮮労働新聞社	朝鮮労働新聞社
朝鮮労働新聞社	朝鮮労働新聞社	朝鮮労働新聞社	朝鮮労働新聞社	朝鮮労働新聞社	朝鮮労働新聞社

I-0850

レーニン主義 叫び声の	不明 月刊	結面記載 南朝鮮共産党 社(英譯)北 平華北大學	責任者 金正友 (朴健雄)	全	雑誌 略号版欄 約五十頁	
民族之血潮	記事事項 不明			民族主義 記事		北平方面より頒布 レホレノ
奪還	記事事項 不明			全 共産主義 記事		市合

満房一、前記刊行物の孰レモ秘密出版ニ係リ其ノ多クハ謄寫
版摺ニシテ旬刊若クハ月刊ト表記セルモ定期ニ発行ス
ルモノ殆ントナク断續的ニ刊行ナルヲ通例トス
一現在傳刊中ニシテ再発行ノ見込ナキモノハ茲ニ之レ
ヲ掲記セム

朝鮮人發行出版ニ係ル共產主義刊行物(秘密出
版共)調査
其二
(書籍及コパンフレッツト)

名 稱	發行年月日	發行所地名	發行所名	記事内容	書冊ノ体裁 及頁数	摘 要
一九二八年十月 朝鮮問題研究 コムインテルナ ル決定 (附朝鮮共産党 再建設準備会 宣言)	一九三〇年 一月三十日 再版	吉林省城	ホルンヴィッ 著者不明 朝鮮共産党 再建設準備会 (吉林省城) 機関紙發行所	一九二八年十月朝鮮 問題研究コムイン テルナル決定朝鮮 文・翻譯所録 トシテ朝鮮共産党 再建設準備会宣 言ヲ掲載ス	四六版 パンフレッツト 謄寫版摺 二十二頁	表紙外面ニハ 聖書新約ト 標題シ右側ニ 主降生一九二 九年一月三 日附朝鮮共 産党宣言ト記 載アリ
(レーニン主義 叢書) マルクス主義 經濟學	一九三〇 月日不明	南平 レーニン主義社 ト記載セル ニ實際ハ 華北大學内	同上 レーニン主義社 着者 司空杓	朝鮮文共 産主義記事	四六版 單行本 謄寫版摺	北平より頒 布シホレ モノ

朝鮮人發行出版ニ係ル共產主義刊行物(秘密出版)翻其三
(外國又ハ日本内地出版物ヲ鮮文ニ翻譯シタル)
談富事項ナシ

BII

I-0850

監印局

第二師 第三

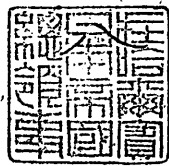
昭和五年五月壹日 接受

機密第四五四號

昭和五年四月十九日

在哈爾濱

總領事 八木元



外務大臣男爵幣原喜重郎 敬

鮮人ノ発行スル不穩新聞雜誌ニ

關スル件

三月二十七日附拙信機密第三四四號中ニ報告致シ置キタル鮮人発行ノ「三一新報」ハ一般海外事情ヲ紹介スル外朝鮮獨立運動ノ進展並ニ共產主義ノ宣傳ヲ目的トスルモノニシテ組織ヨリ毎號鮮

132.1

族總聯合會宛送付レ来ルノモノニテ未ダ該地方一般鮮人ニハ配布セザレ居ラサル模様ナルカ右ノ他青館管案ノ得タル情報ニ依リハ青館管内五常縣沖河店住鮮人元正義府軍事部司令長李青天、孫武水、趙東範、金恩石（何レモ元正義府員ニシテ現ニ沖河ニ居住）等四名ハ昭和四年九月月中旬頃顯穆縣、綏蘭縣、榆樹縣、五常縣等ノ青年ヲ集團セシメ新朝鮮社ヲ組織シ新朝鮮ト称スル雜誌ヲ現ニ発行シツアリ編輯兼発行者ハ孫華山、趙東範兩名ニシテ其ノ文筆ハ及帝國主義共產主義ノ宣傳スルモノナル趣ニテ尚引續キ調査中ナルハ不取敢テ報告ス

本信寫送付先

在文公使、北平、奉天、上海、天津、間島、青島、濟南、大連、安東、旅順、各地方

I-0850

亞細亞局

機密第三九二號

第二部 三浦

昭和五年四月二十三日

在間島

總領事岡田兼



昭和五年五月貳日 接受

外務大臣男爵幣原喜重郎殿

在露日鮮支各共產黨、朝鮮革命運動激勵

關スル件

(琿春分館報告)

本件ニ關シ謀知シタル處ニ依リハ露國共產黨ハ光
州學生事件後朝鮮ニ於ケル革命闘士ノ意氣衰退
シ運動上一大頓挫ヲ來サムコトヲ慮ル虞シ此等革命
闘士ノ志氣ヲ鼓舞スルト共ニ今後ニ於ケル革命運動

ヲ促進セシムル為四月八日在露日鮮支共產黨ノ名義ヲ
以テ左記譯文要旨ノ宣傳文ヲ朝鮮滿洲各地思想團結
ニ頒布セリ御參考迄

記

鮮滿地方革命闘士ニ告ク

朝鮮ニ於ケル革命運動ノ火焰力急速度ヲ以テ擴大化シ
朝鮮共產黨事件大規模ノ釜山紡績仁川大邱各精米所等
ニ從事スル職工及労働者ノ同盟罷業問題今回朝鮮學生
事件等カ朝鮮革命運動ノ原動力トナリ漸次大衆的政治闘争化
スルヲ見ルニ至レルハ是レ日本帝國主義ノ殖民地タル朝鮮
ノ民族解放運動上喜フヘキ現象ナリ朝鮮ハ日本帝國主
義ノ原料買收地ニシテ商品販賣市場タルト同時ニ投資市
場ナリ朝鮮民衆ハ日本帝國主義ノ為凡ニ躡蹠採取侮辱裡

I-0850

ニ呻吟シツツアリソウイエート同盟ハ彼ノ反動國家ヲ撃
滅スルト共ニ殖民地及反殖民地ノ弱小民族ヲ解放スルタ
メ世界無産階級ノ總戦線ノ實現ニ努力シツツアリ朝
鮮ニ於ケル革命闘士ヨ汝等ノ犠牲献身の活動ハ是
レ個人ノ利害ニ關係スルモノニ非ラシテ世界革命
ノ為ナリ汝等カ世界革命ノ為殫レルトモ汝等ノ
偉大ナル功績ハ彼ノ燦然タル革命史上ニ輝クヘシ革
命闘士ヨ彼ノ帝國主義ノ末路的暴舉ニ屈スルコト
ナク勞農國家ノ後援ノ下ニ百折不撓ノ精神ヲ以テ
反動勢力ト抗爭シ勞働者農民ノ團結ニ努力セヨ
而シテ日本印度中國ニ於ケル無産階級ト革命運
動ノ聯結ヲ為シ革命戦線ノ統一ニ貢獻セヨ
世界革命萬歳

ソウイエート同盟萬歳

朝鮮革命萬歳

中國革命萬歳

一九三〇年四月八日

在ハバロフスク日本共產党

同 中國共產党 聯名

同 朝鮮共產党

本信寫送附先

在又公使北平首席奉天吉林哈爾濱各總領事長春領事

朝鮮總督咸北知事

管内各分館主任各署長分署長

昭和五年四月二十五日

機密第四〇四號

第二編

通

昭和五年四月二十五日

在間島

總領事 岡田兼



外務大臣男爵幣原喜重郎殿

支那人共產黨聯合會執行委員會組織ニ關スル件

(嘎呀河分署長報告)

本件ニ關シ謀知シタル處ニ依レハ東北省内ニ於ケル支
鮮人共產黨員ハ現下支那時局ノ動搖シツアルヲ好機
トシ東北省内ノ赤化運動ヲ決行シ朝鮮革命運動ヲ促
成セムカ為去ル三月十八日十九日ノ二日間ニ亘リ吉林省長春

城内ニ於テ代表聯合會議ヲ開催討議ノ結果再々双方ノ
融和ヲ保テ相互ニ援助ヲ與ヘ運動步調ヲ一ニシ聯絡ヲ鞏
固ナラシメ左記幹部ヨリ成ル「東北省中韓共產黨聯合
執行委員會」ヲモリヲ組織シ本部ヲ吉林ニ置キ奉天哈爾濱
寧古塔延吉(局子街)ノ各地ニ支部ヲ設置スルコトニ決シタ
ル由ナルカ參席者氏名左ノ如シト注意中ナリ

記

參加代表者氏名

奉天代表 支那人 王祥玉 張秀峯

日 鮮人 李根秀 許 允

吉林代表 支那人 張海星 陳志遠

日 鮮人 金河玉 崔元興

哈爾濱代表 支那人 關鴻濟 外一名

I-0850

同 鮮人 吳秉勳

寧古塔代表 日 金東軾 柳一根 金春圃

延吉代表 支那人 王福海 騰達

日 鮮人 崔 一 田載豐

以上ノ通ナルカ右參席者中ヨリ專任幹部ヲ左記ノ通決
定シタリト

一 執行委員長 張秀峯

一 責任祕書 王祥玉

一 財務部長 陳志遠

一 組織部長 張海星

本信寫送付先

在支便北平首席奉天吉林哈爾濱各總領事長春領事
朝鮮總督咸北知事

管内各分館主任各署長分署長

朝鮮亞局

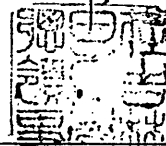
第二課三浦

昭和五年五月八日 接

機密公第二九七號

昭和五年五月一日

在吉林
總領事 石射猪太郎



外務大臣男爵幣原喜重郎殿

朝鮮共產党兩建設滿洲部機關紙「滿洲勞力者新聞」

第二號入手ノ件

別紙、鮮人情報御參考迄報告申進ス

本信爲送付先

北平奉天 間島ハルビン 長春
海龍 通化 關東長官 朝鮮總督

朝鮮共產党兩建設滿洲部機關紙
滿洲勞力者新聞
吉林省城ニ根據スル朝鮮共產党兩建設滿洲部
海派ソウル派ニ於テハ機關紙トシテ昭和五年一
月十五日附滿洲勞力者新聞創刊號ヲ發刊セルカ
更ニ四月一日附第二號ヲ發行セルモノ一部入手
シタル處其第一號ニ掲載セラレタル主ナル記事
ハ別紙同次記載ノ通りニシテ社説「滿洲韓人自治
問題」ハ朝鮮人自治運動團體タル國民府韓族同鄉
會ノ如キ朝鮮人自治運動團體タル國民府韓族同鄉
治セムトスル所謂二重統治機關ナレハ之ヲ統
打倒スヘシトテ種種批判ヲ加ヘ次ニ在滿鮮人
衆ノ要求スル政治自治運動團體ヲハ民族自決權
目標トスル政治自治運動團體ヲハ民族自決權

BII

I-0850

其行動綱領及組織方法等ニ就キ論訖シアリ(全文
別紙譯文ヲ添付ス)
在滿鮮人自治運動ノ推移ニ對シテハ相當注意ノ
要アリト思料ス

BII

I-0850

滿洲勞力者新聞 第二號 一九三〇年四月一日

目次

- 一 滿洲韓人自治問題ハ如何ニ解決スヘキカ？(譯文添付)
- 一 愛讀者同志等ニ告ク、勞力者新聞ヲ防衛セヨ！
- 一 軍閥戦争ヲ撲滅シテ中國勞農革命ニ積極參加セヨ！
- 一 日本帝國主義ハ武漢ニ軍艦ヲ派遣シ暴悪ナル干涉戰ハ開始サレタ
- 一 哈爾濱被壓迫大衆ノ革命的示威運動
- 一 哈爾濱農民ノ大爭議……土地共同耕作宣言
- 一 海滿縣農民ノ大爭議……餓死同盟ヲ以テ悪地主ニ抗爭
- 一 敦化及珠河ノ農民聯盟組織
- 一 橫暴ナル惡地主カ朝鮮小作人ヲ監禁打殺(延壽縣河西農場王子安事件)

BII

目次

3

3

3

3

BII

- 一 反動派カ國民黨ニ加入シテ勞農大衆虐殺ヲ陰謀
- 一 朝鮮革命ハ走狗討伐ノ口實ヲ以テ共產黨討伐ヲ陰謀
- 一 敦化ニ於テ四十餘名被捕、吉林ニ於テモ二名被逮
- 一 走狗猖獗横行
- 一 土地革命ニ賛成セハ死刑ニ處ストノ派爭狂ノ發
- 一 惡
- 一 共產黨ノ大旗幟
- 一 前衛奪還ノ大衆的示威運動ヲ惹起セシメヨ！
- 一 赤キ銃彈
- 一 三運動十一週年紀念
- 一 珠河千餘ノ農民大示威
- 一 吉林各團體ノ共同紀念
- 一 敦化ニ於テ農民大衆大會演說示威
- 一 阿城ニ於テ農民大示威

I-0850

一 在滿韓人反帝同盟、中東線、敦化、磐石ニ支部組織
一 歐野ノ新シキ光彩
一 滿洲ノ三月八日反動ノ鉄網ヨリ躍出シ全滿
一 婦女ノ大衆的闘争
一 急激ニ上昇セル世界革命ノ熱潮
(目次終)

BII

I-0850

社説
滿洲韓人自治問題ハ如何ニ解決スヘキカヲ
同鄉會國民府等ノ二重統治機關ヲ打倒シ民族
自決権獲得ヲ目標ニ闘争團體ヲ組織セヨ

一、戦闘の勢力大衆等一吾等滿洲韓人大衆間ニ自治
問題ヲ提起サレテ以來既ニ時間ハ永イ東省韓族同
鄉會磐石同鄉會國民府等ハ其ノ由未ト性質ヲ前
二者ト異ニシテ居ル等ハ此ノ要求ニ應シテ出現シ
タル自治團體アル而シテ如斯團體ハ滿洲韓人革
命戰線ノ階級的分化ト分派の闘争ニ供行シテ猛烈
ナル分裂對立暗闘ヲ繼續シ、各々自己ノモノヲ
真正ナル自治機關ナリト主張スル然シ自治問題ニ
對スル根本の本質的階級的究明及解決ハ未タ一回
ニ無カッタ
二、戦闘の勢力大衆等一滿洲韓人大衆間ニ於テ自治ノ

BII

要求カ台頭スヘキ社會的根拠ハ何レニアルカヲ
滿洲韓人ハ極少部分ノ資本家地主及其レ等ノ走狗
ヲ除ク以外ノ大部分ハ極端ノ民族の蔑視壓迫ニ
於テ呻吟シテ居ル勿論支那人ト雖資産無キ勞働者
農民ハ豪紳官僚ヨリ形言シ能ハサル壓迫ヲ受ケテ
居ルコトハ事實ナルニ韓人大衆ハ尙ホ一層甚シキ
民族の差別待遇壓迫ヲ受ケテ居ル茲ニ韓人大衆ニ
ハ民族の差別待遇不平等待遇ニ對スル忍ビ難キ反抗
力アル韓人大衆ニ自由ヲ保障シ得ル自治ノ要求カ
台頭サレタルヲアル
故ニ如斯大衆ノ要求ヲ満足セシメントスル自治國
體ノ任務ハ滿洲韓人被壓迫大衆ニ無理ナル民族の
壓迫ヲ加フル豪紳官僚及軍閥ニ對スル無慈悲ナル
闘争ヲ指導セカハナラ又而シテ常ニ生スル此カノ
民族の差別待遇不平等待遇ニ關スル大衆ノ個々ノ不
平不滿ヲ抽出昂揚指導シ民族自決権獲得ノ為ノ全
般的政治闘争ニ進進出々ハナラ又勿論此ノ闘争

BII

ヲ効果的ニ遂行スルハ支那労働大衆ノ支持カ必
要アリ且ツ此ノ目的ヲ完全ニ達成スルハ帝國
主義ト其ノ走狗國民政府ヲ顛覆セシムルノ力絶
對條件アルト共ニ滿洲韓人ノ政治的自由獲得
争ハ必然的ニ支那労働革命ハ大衆的動員ノ一形
態トナルテアル此處ニ自治問題解決ニ對スル歴
史的辨証法指針カアリ民族問題解決ニ對スルマ
ルクス主義的レーニン主義的方法カアル

三、戦闘的労働大衆等

東省韓族同鄉會磐石同鄉會國民政府等ハ支那ノ軍閥
官僚ヨリ自治ヲ奪取セシテ韓人被压迫大衆ニ對
シ自治ヲ行ワシ居ル換言セハ滿洲韓人被压迫大衆
ノ自由ニ對スル熱望ヲ代表シテ支那反動政府ノ手
ヨリ自由自治及民族自決權ヲ奪取スヘキニ彼等ハ
反ツテ支那反動政府ニ阿諛シテ自治ト云フ美名下
ニ被压迫大衆ヲ統治シテ居ル其ノ必然的結果ハ二

軍統治ニ過キヤイ被压迫大衆等カ期待シタル政治
的自由ハ實現セズ支那軍閥ノ擄取、压迫ヲ受クルト
共ニ同鄉會國民政府等ノ軍資金募集ノ強制下ニ重
ノ擄取ニ軍ノ压迫ヲ強制的ニ受ケ到ル処被压迫大
衆特ニ労働農民等ハ滿洲ニ彌滿スル無原則ナル欺
騙ノ影響ト等シク自治運動ヲ嫌フノテアル
見ヨ！國民政府ハ直接支那軍閥ノ手足化シ労働大衆
ノ革命運動ヲ彈压スル白色虐殺隊ノ先鋒トナリ俗
稱「木面統治」ト迄謂ハレタル機關ナルヲ以テ論スル
迄ニナイカ東省韓族同鄉會モ亦被压迫大衆ニ對シ
自由ヲ約束シタルコトナク民衆ノ膏血ヲ以テ崔東
昨ノ如キ政治ブルジョアカラ南京軍閥政府ハ派遣シ奴
等ノ「保護」ヲ乞ハレメタ又前記ニ名ト其性質ヲ異ニ
スルト自称セル磐石同鄉會ヲ見ルニ是亦労働農民
ノ政治的自由ヲ約束スル運動ハ殆ントナク農民ノ
米穀ヲ強奪シテ朴春團ノ如キ走狗ト支那官僚ノ腹
ヲ肥シタノミテアル

BII

BII

國民府ハ打倒シタルモ同郷會又亦ソレテアルト云
フ磐石農民ノ衷心ヨリノ叫ビヲ忘レテハナラナイ
其シテ滿洲韓人自治團體ハ何レモ支那統治機關ノ
補助機關ヲアリ其ノ上層ニ在リテハ到處公然ト
支那官僚ノ手足トナリ忌憚ナク走狗的役割ヲ敢行
シテ居ル

四

戰闘的勢力大衆等ト吾等カ要求スル自治運動
ハ滿洲韓人被壓迫大衆ノ統治自治スト云フ莫
名下ニ行フ機關ニアラサル民族自決權獲得ヲ目
標トスル政治闘争團體ハ如何ナル行動綱領組織ヲ
持タネハナラヌカ

A 行動綱領

1. 民族の差別待遇撤廃案――
2. 入籍希望者ノ無條件入籍及未入籍者
ノ無條件居住確保
3. 自主教育権取

BII

ト 3 3

1 3

4

BII

4. 韓人被壓迫大衆ヲ無理ニ壓迫搾取セル豪紳地主
官僚及軍閥政權打倒
 5. 偏狹ナル愛國主義幻想撲滅
 6. 日本帝國主義及滿洲韓人被壓迫大衆ヲ壓迫スル
一切帝國主義打倒
 7. 走狗及走狗機關撲滅
 8. 勞力者ニ對スル軍資金強制募集強制統治反対
 9. 工農ノ一切闘争支持
 10. 被壓迫大衆ノ生命財産保護
 11. 言論出版集會結社ト監視示威自由取
- B 組織
- 縣ヲ單位トシテ各縣ニ韓人代表會ヲ組織シテ其
區域内ニ居住スル十八才以上ノ男女被壓迫大衆ニ
選舉及被選舉權ヲ與ヘ其ノ選舉代表ト其ノ區域内
大衆團體ノ代表ヲ以テ組織スヘキヲアルモ而シテ各
縣韓人代表會ト全滿的ニ存在スル大衆團體ノ代表カ
集合シ東省韓人代表大會ヲ構成スヘキヲアル事

一、其ノ執行機關カ、ソノ革命的民主々裁制ニ事務ヲ
 執行セハハナラヌ故ニ之レハ一律ノソヴィエト云フ
 コトカ出来ルモ、正ナル意味ノ自治團體ニ政治的
 自由ヲ約束スル與正ナル意味ノ自治團體ニ政治的
 一、國民府、同郷會等ノ二重統治機關ヲ打倒セヨ
 一、郷甲及巴村制ヲ打倒セヨ
 一、民會其他一切走狗機關ヲ撲滅セヨ
 一、總ヘテノ压迫ヲ受ケル大衆ハ全東省韓人代表會
 ヲ組織セヨ

BII

I-0850

準備部局

第二課

機密公第三二六號

昭和五年五月五日

昭和五年五月拾五日接受

別紙添附

在吉林
總領事 石 射 猪 太 郎



外務大臣男爵 幣 原 喜 重 郎 殿

北滿洲ニ於ケル高麗共產黨支部配置ニ關スル件
本件ニ關シ諜知スル處ニ依レハ吉林省政府ハ客月末在哈特別區警察總
管理處ヨリ別紙送^送ノ如キ北滿洲ニ於ケル高麗共產黨支部配置表ノ送附
ヲ受クルト共ニ之カ行動嚴重取締方通牒ニ接シタルヲ以テ右ノ旨五月
二日頃全省警務處、司法各機關及關係各縣長宛轉令シタル趣ナリ

右報告ス

本信寫送附先 北平 奉天 哈爾濱 間島 長春

BII

BI

I-0850

高麗共産黨支部
(阿城縣小海溝墾民學校内)

第一區域(小綏芬)
綏芬河支部(西羊也)
三岔口支部
塞葱河支部

第二區域(海林)
穆稜支部
石河支部
拾馬溝支部

第三區域(綽古塔)
東京城支部
額穆支部
敦化支部

第四區域(阿什河)
石頭河子支部
烏古密河支部
長春支部

第五區域(昂々溪)

BII

I-0850

第二編

昭和五年五月

5.5 13



關東廳警務局長心得

(除奉價等)

張學良ハ過般吉林副司令長官公署ヨリ左記報告ニ接セリト云フ

藩陽張司令長官鈞鑒　管下各縣ニ在留スル鮮人ハ共產黨ノ秘密運動ニ依
 リ反帝國大同盟ニ加入セル者多數ニシテ刻下各處ニ於テ宣傳ヲナシ傳單
 標語ヲ撒布シツツアリ而シテ其重要ナル口號トシテハ「我大韓國ヲ獨立
 解放セシメント欲求セハ日本帝國主義ヲ打倒スルニ非サレハ成功シ難ク
 流血ヲ成功ノ要決トナス」云々ノ文字アリテ間島地方各處ノ共產分子ト
 均シク相互聯絡シ五月中旬共產黨總部ノ援助ヲ俟ツテ大舉セントシツツ
 アリト云フ又衛隊兵舍内ニ於テ打倒帝國主義云々ノ反動傳單ヲ發見シタ
 ルヲ以テ來源ヲ探查シタルニ新入兵金某カ携帶シ來リシモノナルコト判

明シタルモ該兵ハ已ニ逃走行衛不明トナリタリ査スルニ該兵ハ全ク共産
黨員ニシテ兵士ヲ裝ヒテ宣傳ヲ意圖セシモノニ相違ナシ謹ンテ此處ニ報
告シ御鑒査ヲ請フ

駐吉林副司令長官公署 叩 三十日

「以 上」

I-0850

亞細亞局

機密第一七一號

昭和五年五月六日

在安東

領事

宇佐美珍



外務大臣男爵幣原喜重郎殿

鮮人、四月會組織ニ関スル件

本件ニ関シ當館警察署ニ於テ諜知セル事項凡記ノ通ニ付何等御参考迄茲ニ報告ス

記

中東線 甯安縣 甯古塔リノ情報ニ依リハ

(分類 I 4. 11. 2. 3 - 10)

同地新站驛附近ニ於テハ鮮内ニ於ケル學生事件ニ依リ亡命シ来タル高某、陶城縣居住金某、朴文秉、李東賢等ノ鮮人知識階級相諮リ最近ニ於テ四月會ナル思想團體ヲ組織シ左記ニ大綱領ヲ主體トシテ歸化、教育、居住等ニ関スル十五種ノ主要政策ヲ建立シ活躍中ナリト謂フ同幹部等ハ殆ト専門學校以上ノ卒業資格ヲ有シ相當理論家ナルミナラス同會ノ顧問トミテハ南京國民黨執行委員某ヲ始メ哈爾濱ニ於ケル最高人物等同團ヲ後援スルモノトナリ近々國民黨宣傳部ヨリ指導員カ同會ニ出張スルヲ定ナリト

昭和五年五月九日



I-0850

而シテ同會員中意志堅實、身体頑健
ニシテ革命思想充溢セル者ハ南京軍官
學校ニ留學セル特典ナルヲ以テ入會
申込者約一千百名ニ達セリト謂フ

記

一、政治經濟ノ覺醒ヲ促進セシムルコト

二、一切妥協主義者ヲ排撃スルコト

三、中韓兩民族ヲ提携ヲ固クセシムルコト

以上

本件寫送件先

在上海駐支代理公使 北平、奉天、吉林

哈爾濱、間島總領事、南京領事

朝鮮總督府、總務局長

平安北道知事

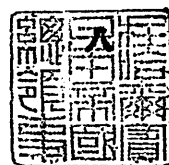
發給第五二七號

昭和五年五月九日

在哈爾濱

總領事 八木 元

外務大臣男爵 幣原 喜重郎 殿



朝鮮河ニ於ケル鮮人反日運動ニ關シ報告ノ件

東京東部沿線牡丹江國居住一邦人カ同沿線朝鮮河へ一名磨刀石トモ
稱シ牡丹江國ヨリ二ツ目先ノ驛所在キノ支那郵務會長王汝嘉ナル
者ノ官トシテ當館警察署宛内報セル所ニ據レハ五月一日午前十一時
頃同地支那町ニ集團シタル鮮人約百七八十名ハ藍色布五尺位ノ旗ニ

BII

「打到日本帝國主義」「打到日本僑胞新民」ト稱シタルモノニ流及
赤色ノ旗ヲ以テ進レル小旗ヲ手ニシ市街ヲ游行シタルカ其際同地邦
人ノ居住スル附近ニ至レハ數ニ邦人ヲ踴躍シ示威運動ニ出デタル爲
同地特別警察署員ハ協力シテ其内首魁者ト目セラルモノ六名ヲ逮
捕シ即日哈爾濱ニ護送セル其翌二日約百名ノ鮮人前記警察署ノ門
前ニ來集シ逮捕サレタル六名ノ身拘返禁ヲ報復セルカ當時恰モ同署
ハ徒ニ三名ノ巡警ニテ執務シ居タルヲ以テ直ニ餘ヲ同地駐中ノ軍
隊ニ通報セル此等鮮人ハ却テ身ノ危險ヲ感シ急遽ク四散シ事ナキ
ヲ稱タリト云フ

右何等御參考迄報告ス

本信寫送附先

在支公使 北平官廳 奉天、吉城、長春、
齊々哈爾濱、滿洲里各領事館
朝鮮總督府 關東廳

照會頭片

機密公第二〇七號

昭和五年五月十三日

在長春

領事 田代重德

外務大臣 男爵幣原喜重郎 殿

國民府革命軍第九隊長李鍾洛トノ
關係ニ付報告ノ件

國民府朝鮮革命軍第九隊長李鍾洛カ客年以來當館管内伊通縣孤榆樹
及長春縣卡倫ヲ根據地トシテ猛威ヲ振ヒツツアリシ次第ハ屢次報告
ノ通りナル處李ハ早クヨリ共產主義的色彩ヲ帶ヒタルモノニシテ國
民府ヨリ配布サレタル武器ノ外ニ密ニ拳銃彈丸等ヲ多數購入シ腹心
ノ部下ニ貸與シ一味ノ養成ニ腐心シ暗ニ國民府ノ命令ニ服從セザリ
シカ最近ニ至リ背離行動露骨化シタルヲ以テ客月中國國民府ハ遂ニ李

I 4. 2. 3-70

在長春日本帝國領事館

ノ隊長タル職ヲ免シタル上同府中央執行委員金輔安ヲシテ第九隊
長ノ椅子ヲ與ヘ諸般ノ事務ヲ引繼カシメタルカ曩ニ國民府ヨリ配
布シタル拳銃七八挺ハ引渡シタルモ自己ノ購入シタル二十挺ハ私
有物ナリトシテ引渡ニ應セス之ヲ一味ノ部下ニ與ヘ今回別個ノ新
武力派ヲ組織シ主トシテ滿鐵沿線ヲ繩張内ト定メ資金ノ調達ヲ爲
スコトトナリタリトノ趣ナル處最近四平街公主嶺兩地ノ滿鐵附屬
地居住鮮人ニ對シ李鍾洛名義ノ脅迫狀頻々トシテ送致セラルル旨
兩地警察署長ヨリ報告アリ加之當地附屬地内ハ一時平穩ナリシカ
此處數日來再ヒ李鍾洛名義ノ脅迫狀舞込ミ初メタルカ右ハ確カニ
新武力派組織後ニ於ケル李鍾洛一味ノ活動ニ基因スルモノト察セ
ラレ今後相當警戒ヲ要スル事態ニシテ各所轄警察ハ之等一味ノ行
動ニ付折角監視警戒中ナリ

此段報告ス

本信寫送付先

北平 奉天 吉林 哈爾濱 朝鮮總督府外事課

在長春日本帝國領事館

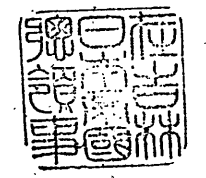
I-0850

朝鮮總局
第二編 三浦
昭和五年五月廿八日接寄

機密公第三五九號

昭和五年五月三十一日

在吉林
總領事 石射猪太郎



外務大臣男爵陸原喜重郎殿

中國共產黨滿洲省委員會ト朝鮮人共產黨トノ
關係ニ関スル件

中國共產黨滿洲省委員會ノ名義ヲ以テ發シタル主
義宣傳文(朝鮮語文)一部入手シタルカ其ノ裏面關係
ニ就キ謀知シ得タル所別記ノ通り御參考迄譯文相
添報告申進ス

本信寫送付先、北平、奉天、開封、ハルビン、長春、海龍、通化、
關東長官、朝鮮總督、

B11

中國共產黨滿洲省委員會ト朝鮮人共產黨トノ關係ニ関スル件
中國共產黨滿洲省委員會ノ根據地ハ確カナラサル
モ諸方面ノ情報ヲ綜合シ見レハ奉天ニ在ルモノ、
如ク其ノ組織内容等モ亦判明セサルカ多數朝鮮人共
産主義者カ之レニ参加シ居レトハ事實ニシテ最
近謀知シ得タルトコロニ據レハ中國共產黨滿洲省
委員會ニ於テハ各地ニ支隊人宣傳員ヲ特派セルカ
朝鮮人宣傳員トシテハ據順方面ニ名譽京臨江安東
縣方面ニ各一名ヲ派遣シタル由ニシテ在上海中國
共產黨本部ヨリ滿洲省委員會ニ奉天ヨリ五月七日未
支那人王雲(三十八年)ナル者奉天ヨリ五月七日未
レ一泊ノ上狹路哈爾濱ニ向ヒタルカ當地ニ於テハ
朝鮮共產黨再建設滿洲部員安曉カ連絡ノ爲メ同人
ニ面會シ何事カ打合セヲ爲シタルモノ、如シ
然リ而シテ磐石縣ニ根據スル朝鮮共產黨中央執行

I-0850

委員會滿洲總局(ML派)ニ於テハ中
委員會ト聯合工作ヲ執ルコトナリ本年三月初旬
幹部陳公木(李炳記飛國三)及王天明ノ両名ハ滿洲省委員
會本部ニ赴キ一切ノ手續ヲ了シタルヲ以テ其後朝
鮮側ノ共產運動ニ関スル事業ハ省委員會ノ指導ヲ
受ケ右両名ニ於テ取扱フコトナリタリトノ説アリ
リ素ヨリ秘密組織ニ劃策シツ、アルヲ以テ其ノ真情
ヲ究ハルニ至ラス
然ルニ四月九日附中國共產黨滿洲省委員會名義ヲ
以テ『全滿韓人労働者農民及一切勞力群衆ニ告グ』ト
題スル朝鮮語文ニテ認メタル謄寫版刷印傳文ヲ各
地韓人間ニ配布セルカ其内容ハ別添譯文ノ通り朝
鮮労働者農民等ハ中國労働者農民ト聯合シテ共同
ノ敵タル日本帝國主義國氏虎軍閥地主資本家ヲ打
倒スヘキコトヲ高調シ我共産党ハ在滿韓國労働者
農民兄弟ヲ號召スルニ依リ我旗幟下一集マル共同
闘争ニ糸加スヘキ旨ヲ宣傳シ市尾ニ多数ノ標語ヲ

B11

羅烈シアルカ本文中特ニ在滿韓人窮民諸君ハ在滿
農民同盟ニ加入セヨノ文句アリ在滿農民同盟(磐
根據)ハ朝鮮人共產主義ML派ノ表面運動機關タル
莫ヨリ親テ前記ノ如ク朝鮮共産党中央執行委員會
滿洲總局(ML派)ハ既ニ中國共産党滿洲省委員會ニ
糸加シ共指單下ニ於テ前記宣傳印刷物ヲ作成配布
シタルニト認メラレ

B11

全滿韓人労働者農民及一切勞力群衆ニ告ク
全滿韓國労働者農民一切勞力兄弟諸君
諸君ハ日本帝國主義ノ壓迫ト虐待ニ堪ヘ得スレテ
生路ヲ求ムハ日本帝國主義ニ末タテアルニ諸君カ
滿洲ニ来ルヤ日本帝國主義ハ直ク後カラツイテ末
ア諸君ヲ壓迫シテ居ル同時ニ中國國民虎兕地土
資本家及反動朝鮮獨立團體國民有等ニ皆諸君ヲ
壓迫シテ居ル諸君考ヘテ見ヨ！諸君ノ進出路ハ何
處ナリヤ
日本帝國主義ハ諸君ノ在ル所毎ニ警察署ヲ設置シ
諸君ヲ任意ニ逮捕シ銃殺シテ居ル同時ニ朝鮮民會
民會等ノ走狗機關ヲ設ケ小數ノ韓人走狗輩ヲ買
収シ諸君ヲ壓迫シ諸君ヲ誑惑セシメテ居ル而シテ
東洋殖産會社金儲組合滿鉄會社等ノ高利貸ヲ居レ
諸君ノ糧食ヲ廉價ニテ奪ヒ諸君ノ血ト汗ヲ搾取シ
ア行ク諸君カ土地ヲ開墾セハ直ニ彼等ノ手ニ渡ル
日本帝國主義カ朝鮮ニ於テ朝鮮労働者農民ヲ壓迫

B11

スル如ク滿洲ニ在リテモ諸君ヲ壓迫スル之ハ滿洲
カ彼等ノ半殖民地ナルカ爲メテアル中國國民虎奉
系軍閥ハ日本帝國主義ノ走狗テアル諸君ヨリ過重
ナル税ヲ取リ立テ諸君ヨリ穀物ヲ奪取スルノナ
ラヌ日本帝國主義ノ革命戰士ヲ逮捕シテ居ル而シテ中
國ノ地主ハ諸君ヨリ過重ナル小作料ヲ取立テ諸君
カ一年間辛苦シテ作リ上ケタル穀物ハ過半彼等ノ
手ニ渡ルノミナラス時々諸君ノ運動ヲ妨害シ商利
ヲ以テ鎗地ナク搾取シテ居ル
反動朝鮮獨立團體國民有等韓族總聯合會等ハ本末
韓國ノ地主資本家トシテ諸君ヲ搾取スル反動勢力
ヲ搾取シ武裝シテ朝鮮獨立ト云フ莫名ノ下ヲ以テ諸君
ヲ主義及中國國民虎奉軍閥政府ト野合シ口ニハ獨立
ヲ叫ブモ其ノ實日本帝國主義及中國國民虎奉軍閥ト

B11

I-0850

共ニ諸君ノ血ト汗ヲ汲ミ取り搾取スルニ過キナイ
而シテ彼等ハ唯日本帝國主義及中國國民黨軍閥ニ
代ワテ諸君ヲ壓迫シ搾取セムトスルノテアツテ諸
君ヲ根本的ニ解放セシムトスルモノデハナイ諸
君カ若シ彼等ノ言ヲ信スルトハ百年ヲ経ルニ解
放ヲ得ラレ、モノデナイ
韓國労働者農民兄弟諸君!!!
日本帝國主義ヲ打倒セサル以上中國國民黨軍閥政
府及資本家地主ヲ打倒セサル以上國民府韓族總聯
合會中間搾取輩走狗輩一切反動勢力ヲ打倒セサル
以上諸君ノ進路カアルト思フカ否! 否! 決シテ
ソウデナイ
韓國労働者農民兄弟諸君—
諸君ハ必ズ明白ニ知ラハナラヌ中國ノ労働者農
民兵士ハ諸君同様ノ苦痛ト壓迫ヲ受ケテ居ル
日本帝國主義國民黨軍閥地主資本家彼等ハ中國ノ
労働者農民ヲ諸君ト等シク搾取シ居ル爲メ諸君ノ

B11

敵ハ即チ中國労働者農民ノ敵ナル中國労働者農
民ハ諸君ノ友ナレハ諸君ハ必ズ中國労働者農民ト
聯合シテ、手ニ手ヲ採ツテ共ニ共同ノ敵、日本帝國
主義國民黨軍閥及地主資本家ヲ打倒セ、ハナナリ又
先ツ第一諸君ハ中國労働者農民ト聯合シ、韓日資
本家地主ニ反対シ同盟シ小作料ト債務ヲ支拂フコ
トナク地主ノ土地ヲ奪ツテ、中韓農民カ分配、所有ス
ヘキテアル地主ナレハ中國人日本人朝鮮人タルヲ
同ハス總テ壓迫搾取スヘキヲアリ農民ナレハ中國
人韓人タルヲ同ハス土地ヲ分得スヘキヲアル中國
農民カ土地ヲ得ハ韓國農民ニ等シク土地ヲ得ハテ
アル
中國ノ土地革命カ勝利ニ歸シ資本家及一切反動勢
力カ打倒セラレテコソ諸君ニ解放ヲ得ルノテアル
若シ農民カ地主ヲ壓迫シ労働者兵士ハ都市ヨリ日
本帝國主義ヲ壓迫シ國民黨軍閥政府ヲ顛覆セシメ
タナラハ迫チニ聯合シテ労働者農民兵士等ノ代表

B11

會議ノ政府ヲ必ス建設スヘキヲアルモ此ノ即チ労働者農民兵士等自身ノソヴィエト政府ヲアル此政府ハ諸君カ平等ニ代表ヲ送り参與セシムルコトカ出来特ニ延邊柳河興寧等ノ韓人多キ地方ニ在リテノ村ソヴィエト政府ハ其ノ主権カ完全ニ諸君ノモノトナルソヴィエト政府ハ諸君ノ奪取シタル土地カ固ク地主ニ奪還セラレサル掃蕩スヘキヲアリ諸君ヲ武装セシメ労働者農民ノ赤キ軍隊ヲ組織シ一切反動勢力ヲ撲滅シ革命ノ勝利ヲ保障スヘキヲアル斯カルソヴィエト政府カ確實ニ成立シテコソ諸君モ莫ニ解放セラレ同時ニ中國ノ労働者農民ニ解放セラレハノテアル

中國共產党ハ中國労働階級トシテ労働階級ノ利益ヲ代表スルト同時ニ農民ノ土地革命ヲ飽ク迄ニ擁護スル又農民カ地主ヲ驅逐シ土地ヲ奪ヒ一切封建的搾取ニ反抗スル闘争ヲ賛成スル吾共産党ハ同時ニ労働者農民兵士等ヲ領導シ一切帝國主義ヲ打倒シ國

B11

民衆軍閥ヲ驅逐シソヴィエト政府ヲ建立セントスルノアル又吾共産党ハ中國内ニ在ル總テノ民族ノ自決ト解放ヲ賛成スル朝鮮人蒙古人西藏人回人何レノ民族タルヲ問ハス中國労働革命カ勝利シタル後ソレ等自身ノソヴィエト政府ヲ建設スルコトカ出来地主ノ土地ヲ分割スルコトカ出来茲ニ吾共産党ハ滿洲ニ在ル韓國労働者農民兄弟ヲ號召スルニ依リ吾共産党ハ美國國民党及地主資本家ニ反対スル一切開争ニ参加セヨ

中國共產党ハ特ニ韓國労働者農民兄弟ヲ號召スルニ依リ日本帝國主義ヲ打倒シ日本警察憲兵領事等ヲ驅逐シ滿洲會社東洋拓殖會社金融組合等ニ反対シ日本帝國主義ノ走狗朝鮮民會滿洲開發隊僞民會朝鮮民衆等ヲ撲滅シ民族ノ利益ヲ賣ル反動團體國民黨韓族總聯合會等ヲ打倒セヨ特ニ在滿韓人窮民群衆諸君ハ在滿農民同盟ニ加盟セヨ

B11

吾等ハ更ニ諸君ヲ號召スル國民院軍閥官方ノ命令ニ反抗シ一切納税ニ反対シ中國軍閥戰爭ニ反対シ高利貸ニ反対シ地主ノ壓迫ト搾取ニ反対セヨ！
小作料ト債務ニ反対シ地主ノ土地ヲ沒收シ遊撃戰ヲ開始シテ地方暴動ヲ起セ！
而シテ吾等ハ韓族農民兄弟カ國民有韓族總聯合會等ト闘争シ彼等ノ武装壓迫ニ反抗シ帝國主義一切走狗ト農民ニ反対スル總テノ闘争ニ萬ク同情スル同時ニ吾等ハ韓族勞農兄弟等ニ重ホテ去ラセシメPハ世界勞働者農民ノ祖國ヲアリ世界帝國主義ノ勢力ニ反対スル大本營トシテ一切被壓迫群衆ノ同友トシテハ吾等ハC.C.Pト聯合シ其ノ援助ヲ受ケテソリ帝國主義及一切反動勢力ヲ打倒スルコトカ出末ル目下日本及一切帝國主義ハ皆C.C.Pヲ擁護シ帝國主義ノC.C.P進攻ニ反対シ武装ヲ準備シ帝國主義ノC.C.P進攻戰爭ヲC.C.P擁護戰爭ニ交換スシメホナナシヌ

B11

韓國勞働者農民兄弟及一切勞力群衆諸君！
諸君ノ進路ハ唯中國勞働階級ノ領導下ニ於テ偉大ナル中國革命闘争ニ参加スルノミ目下全中國勞働者農民ノ革命闘争ハ既ニ滿洲ノ如ク沸騰シテ居リ帝國主義軍閥國民院及地主資本家等ハ總テ此ノ勝利ハ近キ將來ニ在リ
起テ！吾等ノ最後ノ勝利ヲ戰取セウ！サ！高！
叫ベ！
中韓勞働者農民ハ聯合セヨ！
日本帝國主義ヲ打倒セヨ！
國民院軍閥政府ヲ打倒セヨ！
地主資本家ヲ打倒セヨ！地主ノ土地ヲ奪取セヨ！
國民有韓族總聯合會ヲ打倒セヨ！
閑發隊朝鮮民會偉民會等一切走狗機關ヲ打倒セヨ！
農監一切中間搾取輩一切封建勢力ヲ打倒セヨ！
一切税金ヲ納ムルナカレ小作料ト債務ヲ支拂フナカレ

B11

高利貸ニ反対セヨ、
革命的労働組合ヲ組織セヨ、在満農民同盟ニ加盟セヨ、
C C Pヲ武装シテ以テ擁護セヨ、
労働者農民兵士ソヴイェト政府ヲ建設セヨ、
中國革命成功萬歳
韓國労働者農民解放萬歳

一九三〇年四月九日

中、共、満、省、委（中國共產党満洲省委員會）

B11

I-0850

I 4823-10

亞細亞局

第二課三浦

昭和五年五月廿壹日

記録係
朝録
5.6.2

機密第一八六號

昭和五年五月二十六日

在鐵嶺

別紙添附

候事近藤信

外務大臣男爵幣原喜重郎殿



南滿農民自衛隊ノ不穩文書郵送ニ關スル件

五月二十三日開原柳鹿大衙居住鮮人姜壽永外五名ニ對シ南滿農民自衛隊ノ名義ヲ以テ別紙譯文ノ如キ謄文謄寫版刷不穩文書ヲ郵送シ來レリ發信地ハ五月二十三日開原縣李家臺局ノ消印アルトコロヨリ察

スルニ開原ヲ距ル二十邦里ナル清源縣境李家臺附近ニ根據セル不逞團ノ所爲ト認メラル御參考マテ此段報告ス
本信寫送附先 奉天總領事

朝鮮總督府警務局長

I-0850

別紙

譯文

沿線各地ノ諸營業家諸氏ニ告ク

諸君 渡滿セル吾々朝鮮民族等ハ朝鮮内ニ於テ日本帝國主義ノ爲土地及其ノ他一切ノモノヲ掠奪セラレ彼ノ壓迫ニ堪エ策メテ生活ノ道ヲ講スヘク懷シイ故國ヲ後ニシテ血ノ涙ヲ流シナカラ流浪ノ旅ニ旅立チ目下危險且寂寞ナル此ノ滿洲ノ平野ニ於テ諸方ニ徘徊スルニ到ツタノテアル併シ素ヨリ吾々ノ活路カ何處ニモアラウ營カナイ畢竟吾々ノ所有物トシテハ立推ノ土地モナク一間ノ草屋スラナイノテアルカラ世ノ中ニ是レ程非人間的生活味カ何處ニ亦ト存生スルテアラウカ斯ル悲慘ナ狀態ニオイテ漸ク生命ノミヲ保チ居ル吾々ニ對シ日本帝國主義ハ滿洲迄モ進ヒ駐ケテ來テ凡有壓迫ヲ加ヘテ居ルノテアルソレタ

カラ文字一ツテモ彼等ノ意ニ逆フ様ナ文字ヲ書ク者カアレハ直チニ不穩文書ヲ書イタモノト言フテ捕ヘテ行ツテハ留置シテ置キ凡有訊問ト凡有行ヲ加ヘ又ハ一般鮮人ヲ善導スル積リテヤツタ行爲デモ直チニ不過鮮人タノ何シタノト言フテ捕ヘテ行ツテハ所謂治安維持法違反ナリトシテ五ヶ年以上ノ懲役又ハ處殺ヲ敢行シ又中國官憲ノ者等ハ多種多樣ノ無禮行爲ヲナシテ吾々ニ壓迫ヲ加ヘ或ハ凡有手段ヲ盡シテ吾々ヲ欺瞞シ又中國人地主等ハ世ニ類ナキ非人間の待遇ト高利息トヲ以テ吾等カ作リ上ケタ農作物ノ三分ノ二以上ヲ奪ヒ取リナカラモ奴隸同様ニ取扱フ虐待等以上ノ如ク吾々ノ受ケテ居ル諸壓迫ト擲取トハ口テ到底盡シ切レナイ程彈山アルノテアル又是レノミテハナイ從來朝鮮獨立トイフ美名ノ下ニ三千方里領土ト二千萬同胞ヲ唱ヘナカ

ラ農民ノ前ニアリテハ自分達許リカ最モ信頼スヘキ獨立軍ノ如ク装ウ
テ居ル國民府ノ者等モ農民ノ金ヲ搾取スル爲ニ自分勝手ナ名目ヲ銘ケ
テ農民ヨリ多額ノ金錢ヲ搾取シテ行ツテハ奴等ハ威勢ヲ張ルカ爲ノ軍
隊ヲ組織シ農民ヨリ集メタ金テ一人前毎月數十元宛ノ給料ヲ支拂ヒ或
ハソノ金ニテ拳銃等ヲ買込ミ夫レヲ以テ集金ノ際農民脅迫ニ使用シテ
居ルノテアル而シテ奴等ノ口テハ日本帝國主義ヲ撲滅シ朝鮮獨立ヲ完
成スルト謂フ欺瞞的言動ヲナシ居ルモ農民等カ一旦「農民ニ關スル諸
難問題ヲ解決スルニハ農民自体カ團結スルニ限ル」ト言フト奴等ハ直
チニ是レヲ反革命分子タノ走狗タノト言フ口實ヲ設ケテ暗殺、虐殺或
ハ家族討伐等ヲ平氣テスルモノテアル
諸君 吾々ハ斯ル愚シイ風雲ノ中テ凡有壓迫ト搾取ト虐殺ニ堪エカ

ネテ昨年ノ冬季ヨリ手當リ次第ニ兇器ヲ持ツテ猛虎ノ如ク奮起シ外敵
ニ向ヒテ進シ併セテ國民府ノ者マテモ撲滅スルニ取リ掛ツタモノテ
アル而シテ吾々ノ陳營ニ於テハ凡有不逞分子ノ勢力ヲ相手ニシテ四方
ヨリ侵入セントスル外敵ノ勢力ヲ粉碎シ同時ニ國民府員ヲ追ヒ出スニ
専心努力シテ居ルノテアル故ニ大衆ノ聲ト棍棒トニ追ヒ廻サレタル
奴等ハ未タ農民團結カ充實ナラサル興京縣ノ一隅ニ追ハレテ行ツテ其
處ヲ一時ノ根據地ト致シ吾々ノ陳營ヲ侵害スヘク凡有陰謀ヲ計畫シテ
居ル即チ國民府員ハ大衆團結ヲ破壞スル爲ニ種々ナル逆宣傳ヲナシ或
ハ農民討伐、暗殺、虐殺、飢饉、放火等ノ發行ヲ平氣テ敢行セトス
ル模様テアル斯ル危機ニ於ケル吾々ハ敵ノ侵害ヲ防禦シ或ハ粉碎スル
爲ニハ強大ナル力ヲ養成セホハナラヌ故ニ吾々自体カ團結シ且農民團

結ヲ自衛スル爲ニ農民自衛隊ナルモノヲ組織シテ吾々自体ヲ自衛シ并
セテ敵ノ侵略ヲ防禦シツツ今日ニ及ヒタルモノナルカ將來ニ於テハ尙
一層猛烈ナル活動ヲナシ農民ノ利益ヲ絶對的ニ保護シテヤル爲ニ時ニ
ハ闘争モセネハナルマイカ茲ニ最モ必要ナ問題ハ經濟問題テアル例ヘ
如何ナル方法ニ依リテ活動スルニセヨ經濟ノ力カ充實シテ居ナイテハ
到底目的ヲ達シ得ラレナイノテアルソコテ此ノ諸費用ヲ各村民ニ負擔
セシムヘキモノナルモ元來生活貧困ナル爲一戸ニ付僅カ一元宛モ納付
シ能ハスシテ村民ノ三分ノ一以上ハ免除サルル狀態ナルニ付コレノミ
ニテハ到底偉業ヲ企圖シ得ラレナイカラ已ムヲ得ス諸賢ニ經濟的同情
ヲ乞フニ至ツタ次第テアル

諸君 吾々農民大衆ヲ否認シナイ方ナラハ經濟的ニ同情シテ下サル

コトヲ希フ

一、打倒日本帝國主義

一、打倒國民府

一、朝鮮獨立萬歲

一、在滿農民解放

一九三〇年 月 日

南滿農民自衛隊 白

亞細亞局

第二課

昭和五年六月四日 接受

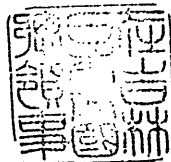
機密公第三七四號

昭和五年五月二十八日

在吉林

總領事

石射猪太郎



外務大臣男爵幣原喜重郎殿

朝鮮人共產主義者金在浩ノ動靜ニ関スル件

中東線方面ヨリ入吉セル朝鮮人共產主義者金在浩ノ
行動ニ就キ謀知シ得タル所別記ノ通り報告申進ス

本信寫送付先、奉天、ハルビン、間島、長春、

関東長官、朝鮮總督、

朝鮮人共產主義者金在浩ノ動靜ニ関スル件
朝鮮人共產主義者金在浩ナル者五月二十二日中東線
方面ヨリ鐵路來吉セル本名ハ曾テ鮮内ニ在リテ
北風會ノ牛耳ヲ執リ北風會ノ代表トシテ莫斯科ニ
赴キタルコトアリト云フカ最近中東線方面ニ於テ
朝鮮共產黨再建設滿洲部ニ關係シ活動シ居リタル
處同方面ノ情況報告ヲ兼テ事業方針等打合セノ爲
メ來吉シタルモ目下尹滋英等ノ重要幹部ハ敦化ニ
赴キ居レルヲ以テ本名ハ二十四日同地ニ向ケ出發
シタリ
行動ヲ續キ注意中

B11

I-0850

朝鮮總局

第二課

昭和五年六月四日 接寄

機密公第三七三號

昭和五年五月二十八日

別紙添附

在吉林

總領事 石射猪太郎



外務大臣男爵幣原喜重郎殿

朝鮮共產党再建設滿洲部吉林支部會関催ノ件

在吉林省城朝鮮共產党再建設滿洲部支部支部ノ決議事項別記ノ通り情報入手シタルニ付御参考迄報告申進ス(五月十七日付松信機密公第三四九號参照)

本信寫送付先 北平、奉天、間島、ハルビン、長春、

関東長官、朝鮮總督、

朝鮮共產党再建設滿洲部吉林支部會関催ニ関スル件

朝鮮共產党再建設滿洲部(京上派)吉林支部ニ於テハ每週一回宛秘集會ヲ催シ存レルガ五月二十三日集會ニ於テ左記事項ノ討議決定ヲ爲セリ

一 吉林省民會組織ノ件

青年反帝大同盟ヲ組織シタル後各種精米所其他有力方面ヲ勧誘シテ組織スルコト

二 青年反帝大同盟組織ノ件

先ツ學生分子ヲ動員シテ既成團體在滿韓人反帝國主義同盟員ト合カシ短期間内ニ發起會ヲ開ク

三 吉林省人學校問題

留吉學友會ヲ先頭トシテ先ツ大馬路ニ新設セル書堂ヲ解散セシムルコト

(因ニ大馬路ニ新設セル書堂ハ一部親日鮮人等カ日本側ノ後援ニ依リ設立シタルモノナルヲ以テ打倒スヘシト云フニ在ルモ事實ハ何等日本人側トノ関係ナシ)

四、朝鮮革命党ニ対スル問題
國民存泰朝鮮革命党ノ正統ヲ究ムル為メ朝共党再建設滿洲部員ニシテ朝鮮革命党員タル李雄ヲシテ朝革党吉林細胞会ヲ開催セシムルコト

五、經濟及連絡機關問題
朝共党再建設派ノ經濟乃至連絡機關トシテ省城河南街老東醫院ヲ維持スルヤウ努力スルコト

(因ニ光東醫院ハ旧經營者鮮人林福順ヨリ朝共党再建設滿洲部幹部崔煥カ去四月中譲受ケタルモノナリ)

六、走狗ニ対スル問題
積極撲滅策ヲ講スル迄ハ走狗容疑者ハ集会結社ニ一切参加セシメズ又親日嫌疑者ニハ宣傳文等ヲ配布セザルコト

尚朝共党再建設滿洲部委員会ヨリ五月二十一日日本

B11

支部ニ対シ不遠内虎ノ組織ヲ爲スベク党員ノ履歴書提出方通知シ束リタル由ナルカ其様式次ノ如シト

一、姓名、二、年齢、三、性別、四、籍貫、五、現住所、六、特長、七、社会ノ身分、八、學識程度、九、財産程度、十、革命後歴、十一、三一運動参加歴否、十二、入虎後歴

以テ

B11

昭和五年 朝鮮總督府 警務局
五月二十八日 朝鮮保秘第七四二號
中國共產黨滿洲省委員會ト韓人共產黨トノ關係ニ關スル件
首魁ノ件ニ關シ五月二十一日附在吉林警務員ヨリ左ノ通り受給セリ
御參考迄

記

中國共產黨滿洲省委員會ノ根據地ハ遼カナラザルモ滿方面ノ情報ヲ綜
合シ見レバ奉天ニ在ルモノノ如ク其ノ組織内容等モ亦判明セザルカ多
數韓人共產主義者等カ之ニ參加シ居レルコトハ事實ニシテ最近確知シ
得タルトコロニ據レバ中國共產黨滿洲省委員會ニ於テハ各地ニ支那人
宣傳員ヲ特派セルカ朝鮮人宣傳員トシテハ滿洲方面ニ名義東京、龍江、
安東縣方面ニ各一名ヲ派遣シタルモノニシテ在滿中國共產黨本部ヨリ
滿洲省委員會指導ノ爲メ特派セラレタル支那人王雲（三十八、九年）

ナル者奉天ヨリ五月七日東京シ一泊ノ上鐵路沿道賣賣ニ向ケタルカ當地
ニ於テハ朝鮮共產黨再建設滿洲部員安島カ連絡ノ爲メ同人ニ面會シ何
事カ打合セヲ爲シタルモノノ如シ

然リ而シテ營石縣ニ根據スル朝鮮共產黨中央執行委員會滿洲總局（ハ
し）ニ於テハ中國共產黨滿洲省委員會ト結合工作ヲ執ルコトナリ
本年三月初旬韓部陳公木（李炳熙、張國三）及王天明ノ兩者ハ滿洲省
委員會本部ニ赴キ一切ノ手續ヲ了シタルヲ以テ其後朝鮮側ノ共產運動
ニ關スル事業ハ省員會ノ指導ヲ受ケ右兩名ニ於テ取扱フコトニナリ
リトノ説アリ素ヨリ秘密裡ニ刺策シツツアルヲ以テ其ノ眞情ヲ究ムル
ニ至ラス

然ルニ四月九日附中國共產黨滿洲省委員會名義ヲ以テ「全滿韓人労働
者農民及一切勞力群衆ニ告グ」ト題スル朝鮮語文ニテ認メタル謄寫版

刷宣傳文ヲ各地鮮人間ニ配布セルカ其内容ハ別添附文ノ通り朝鮮労働
者農民等ハ中國労働者農民ト聯合シテ共同ノ新ナル日本帝國主義・國
民黨軍閥地主資本家ヲ打倒スベキコトヲ高調シ我共產黨ハ在滿韓國勞
働者農民兄弟ヲ號召スルニ依リ我旗幟下ニ集マリ共同闘争ニ参加スベ
キ旨ヲ宣傳シ末尾ニ多數ノ標語ヲ羅列シアルガ本文中特ニ在滿韓人消
民諸君ハ「在滿農民同盟」ニ加入セヨノ文句アリ在滿農民同盟（磐石
縣根據）ハ朝鮮人共產主義ヲ主張シ派ノ表面運動機關タル點ヨリ觀テ前記
ノ如ク朝鮮共產黨中央執行委員會滿洲總局（ハシ派）ハ既ニ中國共產
黨滿洲省委員會ニ参加シ其指導下ニ於テ前記宣傳印刷物ヲ作成配布シ
タルモノト認メラル

全滿韓人勞働者農民及一切勞力群衆ニ告テ

全滿韓國勞働者農民。一切勞力兄弟諸君!!!

諸君ハ日本帝國主義ノ壓迫ト虐待ニ堪ヘ得ズシテ生路ヲ求ムベク滿洲ニ來ルノアル。然ルニ諸君ガ滿洲ニ來ルヤ日本帝國主義ハ直ク彼カラツイテ來テ諸君ヲ壓迫シテ居ル。同時ニ中國國民黨軍閥。地主。資本家。及反動的朝鮮獨立團體國民府等。皆諸君ヲ壓迫シテ居ル。諸君考ヘテ見ヨ! 諸君ノ進出路ハ何處ナリヤ?

日本帝國主義ハ諸君ノ在ル所毎ニ警察署ヲ設置シ諸君ヲ任意ニ逮捕シ銃殺シテ居ル。同時ニ朝鮮民衆保護會等ノ走狗機關ヲ設ケ小銃ノ韓人走狗等ヲ買収シ諸君ヲ壓迫シ諸君ヲ虐待セシメテ居ル。爾レテ東洋拓殖會社。金融組合。滿鐵會社等ノ高利貸ヲ爲シ諸君ノ糧食ヲ廉價ニテ奪ヒ諸君ノ血ト汗ヲ搾取シテ行ク。諸君ガ土地ヲ國庫セバ直ニ彼等ノ

手ニ渡ル。日本帝國主義ガ朝鮮ニ於テ朝鮮勞働者農民ヲ壓迫スル如ク滿洲ニアリテ諸君ヲ壓迫スル之ハ滿洲ガ彼等ノ半殖民地ナルガ爲メアル中國國民黨軍系軍閥ハ日本帝國主義ノ走狗ナル諸君ヨリ過重ナル稅ヲ取り立テ諸君ヨリ穀物ヲ奪取スルノミナラズ日本帝國主義ノ指示ヲ受ケ韓人ヲ驅逐シ學校ヲ閉鎖シ諸君ノ革命機ヲ逮捕シテ居ル。爾レテ中國ノ地主ハ諸君ヨリ過重ナル小作料ヲ取立テ諸君ガ一年間苦辛シテ作り上ゲタル穀物ハ過半彼等ノ手ニ渡ルノミナラス時々諸君ノ運動ヲ妨害シ高利ヲ以テ餘地ナク搾取シテ居ル。

反動的朝鮮獨立團體國民府建族總聯合會等ハ本來韓國ノ地主。資本家トシテ諸君ヲ搾取スル反動勢力アル。彼等ハ朝鮮獨立ト云フ美名ノ下ニ諸君ヲ搾取シ武装シテ諸君ノ家ニ行キ金錢ト糧食ヲ奪取シ諸君ノ國ヲ逮捕シ銃殺スル。尙彼等ハ日本帝國主義及中國國民黨軍閥政府

ト野合シロニハ獨立ヲ叫ブモ其ノ實日本帝國主義及中國國民黨軍閥ト
共ニ諸君ノ血ト汗ヲ汲ミ取り搾取スルニ過キナイ而シテ彼等ハ唯日本
帝國主義及中國國民黨軍閥ニ代テ諸君ヲ壓迫シ搾取セシムルノヲ
ツテ諸君ヲ根本的ニ解放セシムルモノナハナイ諸君若シ彼
等ノ言ヲ信スルトセバ百年ヲ經ルモ解放ヲ得サルモノナリ

諸國労働者農民兄弟諸君!!!

日本帝國主義ヲ打倒セザル以上中國國民黨軍閥政府及資本家。地主ヲ
打倒セザル以上國民府。農工總聯合會。中國共產黨。走狗等。一側反
動勢力ヲ打倒セザル以上。諸君ノ進路ガアルト思フカモ否一否一決シ
テソウデナイ

諸國労働者農民兄弟諸君!

諸君ハ必ズ明白ニ知ラネバテラニガ中國ノ労働者農民共ニハ諸君同義

ノ苦痛ト壓迫ヲ受ケテ居ル

日本帝國主義。國民黨軍閥。地主資本家等ハ中國ノ労働者。農民ヲ
諸君ト等シク搾取シ居ル爲メ諸君ノ血ハ諸君中國労働者農民ノ血ニア
ル中國労働者農民ハ諸君ノ友ナレバ諸君ハ必ズ中國労働者。農民ト聯
合シテ手ニ手ヲ握ツテ共ニ共同ノ敵日本帝國主義。國民黨軍閥及地
主資本家ヲ打倒セネバテラニ先ツ第一諸君ハ中國労働者。農民ト聯合
シ中國日資本家地主ニ反對シ同盟シ小作料ト債務ヲ支拂フコトナク地
主ノ土地ヲ奪ツテ中國農民ガ分配ノ所有スベキナル。地主ナレバ中
國人。日本人。朝鮮人タルヲ問ハズ總テ壓迫搾取スベキアリ農民ナ
レバ中國人輸入タルヲ問ハズ土地ヲ分得スベキナル中國農民ガ土地
ヲ得ハ中國農民モ等シク土地ヲ得ヘキナル
中國ノ土地革命ガ勝利ニ歸シ資本家及一切反動勢力ガ打倒セラレテ

ソ諸君を解放ヲ得ルノデアル若シ農民カ地主ヲ驅逐シ労働者兵士ハ都
市ヨリ日本帝國主義ヲ驅逐シ國民黨軍閥政府ヲ驅逐セシメナラバ南
ヲニ聯合シテ労働者農民兵士等ノ代表會議ノ政府ヲ必ズ建設スベキ
アル之ヲ多ク労働者、農民、兵士等自身ノ「ソヴィエト政府」アル、此
政府ハ諸君ガ平等ニ代表ヲ選リ參與セシムルコトガ出来、特ニ延邊、
遼河、興京等ノ華人多ク地方ニ在リテノ鄉村「ソヴィエト政府」ハ其ノ主權
ガ完全ニ諸君ノモノトナル「ソヴィエト政府」ハ諸君ノ幸福ニ其ノ土地
ガ得ヒ地主ニ奪還セラレザル確保スベキ「ソヴィエト政府」ハ其ノ主權
諸君、農民ノ赤キ軍隊ヲ組織シ一切反動勢力ヲ潰滅シ革命ノ勝利ヲ確
障スベキデアル
斯カル「ソヴィエト政府」ガ確實ニ成立シテ「ソヴィエト諸君」モ眞ニ解放セラレ同
時ニ中國ノ労働者農民モ解放セララルノデアル

中國共產黨ハ中國労働者階級トシテ労働者階級ノ利益ヲ代表スルと同時に
農民ノ土地革命ヲ指導シ又農民カ地主ヲ驅逐シ土地ヲ奪ヒ
一切封建的搾取ニ反抗スル闘争ヲ實現スル、吾共產黨ハ同時に労働者
農民兵士等ヲ領導シ一切帝國主義ヲ打倒シ國民黨軍閥ヲ驅逐シ「ソヴィ
エト政府」ヲ建立セントスルノデアル又吾共產黨ハ中國内ニ在ル諸「ソ
民族」ノ自決ト解放ヲ贊助スル、朝鮮人、蒙古人、西藏人等々人何レノ
民族タルヲ問ハズ中國労働革命ガ勝利シタル後ソレ等自身ノ「ソヴィエ
ト政府」ヲ建設スルコトガ出来、地主ノ土地ヲ分得スルコトガ出来ル故
ニ吾共產黨ハ滿洲ニ在ル韓國労働者農民兄弟ヲ號召スルニ依リ吾黨
下ニ集マリ共ニ闘争シ中國労働革命ニ参加シ帝國主義、國民黨及地主
資本家ニ反對スル一切闘争ニ参加セヨ！
中國共產黨ハ特に韓國労働者、農民兄弟ヲ號召スルニ依リ日本帝國主

義ヲ打倒シ日本警察、憲兵、領事等ヲ驅逐シ滿鐵會社、東洋拓殖會社、金融組合等ニ反對シ日本帝國主義ノ走狗朝鮮民會、滿蒙開發隊、保民會、鮮民府等ヲ撲滅シ民族ノ利益ヲ賣ル反動團體國民府、總族總聯合等ヲ打倒セヨ特ニ在滿韓人窮民群衆諸君ハ在滿農民同盟ニ加盟セヨ！吾等ハ更ニ諸君ヲ號召スル國民黨軍閥官廳ノ命令ニ反抗シ、一切納税ニ反對シ中國軍閥戰爭ニ反對シ高利貸ニ反對シ地主ノ壓迫ト搾取ニ反對セヨ！

小作料ト債務ニ反抗シ地主ノ土地ヲ沒收シ遊擊戰爭ヲ開始シテ地方暴動ヲ起セ！

而シテ吾等ハ總族農民兄弟カ國民府總族總聯合會等ト闘争シ彼等ノ武装壓迫ニ反抗シ帝國主義一切走狗ト徹底ニ反對スル總族ノ闘争ニ深ク同情スル同時ニ吾等ハ總族農民兄弟等ニ重ネテ云フ〇〇Pハ世界勞

6

働者農民ノ祖國ヲアイ世界帝國主義ノ勢力ニ反對スル大本營トシテ一切被壓迫群衆ノ同志アレバ吾等ハ〇〇Pト聯合シ其ノ壓迫ヲ受ケテソソ帝國主義及一切反動勢力ヲ打倒スルコトヲ出來ル目下日本及一切帝國主義ハ皆〇〇Pヲ排擠シ帝國主義ノ〇〇P進攻ニ反對シ武装ヲ準備シ帝國主義ノ〇〇P進攻戰爭ヲ〇〇P排擠戰爭ニ變換セシメネバナラヌ

韓國労働者農民兄弟及一切勞力群衆諸君！

諸君ノ進攻ハ唯中國労働階級ノ領導下ニ於テ偉大ナル中國革命闘争ニ参加スルノ目下全中國労働者、農民ノ革命闘争ハ既ニ滿蒙ノ如ク沸騰シテ居リ帝國主義、軍閥國民黨及地主資本家等ハ總テ此ノ労働者、農民革命闘争ノ巨潮中ニ倒壊スベク吾等ノ勝利ハ近キ將來ニ在ル起テ！吾等ノ最後ノ勝利ヲ戰取セウ！サ！高ク叫ベ！

中韓労働者農民ハ聯合セヨ！
 日本帝國主義ヲ打倒セヨ！
 國民黨軍閥政府ヲ打倒セヨ！
 地主資本家ヲ打倒セヨ！地主ノ土地ヲ奪取セヨ！
 國民府韓族總聯合會ヲ打倒セヨ！
 國會議院、朝鮮民會、保民會等一切走狗ハ打倒セヨ！
 最近一切中間搾取者、一切封建勢力ヲ打倒セヨ！
 一切税金ヲ納ムルナカレ、小作料ト債務ヲ支拂フナカレ
 高利貸ニ反對セヨ！
 革命的労働組合ヲ組織セヨ！在滿農民同盟ニ加盟セヨ！
 C O P Pヲ武装ヲ以テ擁護セヨ！
 労働者農民兵士ソグイェト政府ヲ建設セヨ！

中國革命成功萬歲

韓國労働者農民解放萬歲

一九三〇年四月九日

中、共、滿、省、委、(中國共產黨滿洲省委員會)

本書發送先

折衝省朝鮮部長
 關東廳警務局長
 外務省亞細亞局長
 在支公使
 天津、上海、奉天
 哈爾濱、長春、安東、
 朝鮮軍司令部、
 朝鮮憲兵司令部、
 各道知事
 各派遺員
 (續吉林)

朝鮮總督府

電報

同島 三十一日午後

本省 一日

岡田總領事及電報

第六回

最近共産主義系統ノ不逞鮮人端午節前後ニ於テ
暴動ヲ計劃シ居ル上日情報アリ茲ニ戒中ノ處ニ於テ夜
和那縣三道溝通信場市内ニ不逞文書多數ヲ撒
布三十一日午前一時三十分同地朝鮮人民會館職員三
名ノ家ニ侵入シ放火シタヘカ夫ノ家ニ至リテ火ヲ消止ス

外務省

I-0850

三十日午後十一時三十分頃突然頭道溝朝鮮
人民會ヨリ発火スルヤ各所ニ銃聲起リ喊
聲ヲ聞ケ爆彈ヲ投シタルニ付我々客署
員機銃射撃ヲ下ニ消防ニ努メ翌日午
前一時三十分全燒鎮火シタルハ此名ノ
鮮人萬歳ヲ高唱シ発砲シテ西北方ニ引
揚ケタルニ市内ニ大韓鉄血団中國若衆
黨徒込テ部ノ名ヲ呼ビ多量ノ不穩文

外務省

文書ヲ撒布シタル普通學校ニ放火セン
トシタル我々客署員ト機關ノ上果サスベシ
外走セリ

三十日午前一時三十分二道溝朝鮮人民
會ニ放火シ半燒セシメ同時ニ補助
官ヲ全燒セロム

三十日午前零時十五分頃弘井村市内ニ
火ヲ放タル直ニ消止メタルハ同日二時

外務省

頃奉銃其ノ他兇器ヲ携帶セル鄭人等
 生約百名市外至電所ヲ襲撃シテ電
 報機ヲ破壊シ市内ノ點燈ヲ停電トシ
 ×(田式電機機ヲ取り替へ今之儀ヨリ是
 電ヲ得ヘキ見込)同時ニ車扱出強所
 市街室内ニ爆弾三個ヲ投下シ一
 個ハ不発ニ終リタル四発其ノ他ノ
 破壊者ノ市内各所ニ中國共産黨ニ

外務省

近江支部共産黨一再通リ没落何部
 人ヲ以テせん不穩之勢ヲ撒布シタル儀
 取寄署員一非常召集シテ市内ノ形
 勢ニ對シテ如何ノ準備配置ニ
 就カスルヲ以テ大車ナキリ得タリ
 三十日午後十時ヨリ三十一日午前二時次
 官一尚ニ就道府、二道府、三道府、以
 此河内縣井村、堀江、同、大谷子、南

外務省

陽坪月々朝鮮側へ電報を伝へ
切斷せしめ地位不能トナシてんを弘井井
頭迄通内日朝鮮側へ三十一日午前
八時頃迄急務現復舊なり又此ノ
向天国館邑弘井村より向ニテ所
弘井井江岸驛ニテ所ノ橋梁ヲ燒
却破壊シタリ
頭迄通内日一名不達弘井人ト移
外務省

ノ降負傷シ先外人ノ高ニ損傷ナク其
他各地方ノ事故未ク降終ナキナリ
評カナリ
一般民心驚擾シ居ンニテ極力之方
鎮靜ト犯人ノ檢査整防ニ努力中
ナリ
外務省

I-0850

去月
九月

二、三百の朝鮮人蜂起し

我領事館、東拓を襲撃

(朝鮮消息) 二十日午後十時頃接北道道領官通信云、三道嶺、三浦嶺、鴨井村に三百名の朝鮮人の暴動起り領事館、警察署員は總動員して必死となつて鎮壓に努めてゐる。これより先、釜龍は、密かに軍用船等、鴨の湖で陳列せし朝鮮との連絡を断ちまつた四十名の新兵隊は、密かに鴨井村附近の朝鮮人民家に侵入し舟楫を掠奪及び民家の牛馬を略奪し各所へ散開ビテを敷し、新羅をほしまつたので、韓軍先遣隊はこれに隨從した。たゞ鴨井、新羅兩村に遊撃隊の進出警備を維持づけたが幸ひ無事であつた。一方鴨井村では四十名が、縣が、東拓支店へ爆彈二個を投じたが、縣は驚愕したるも、新羅道令(鴨)縣長、處士衙門の僅二人所被擄さず莫論家は不被害」との通信云々三十一日午前八時半うけて、縣に電話した。

[記者通信] 間島の暴動に加合した朝鮮人は約六百百名といはれ、數日前領事館警察が朝鮮人を檢挙したことからうつ積して行はれた反感が爆發したものと見られてゐるが復讐切斷の跡を見るにいづれやすり様のもので行はれた反感に於いてはものと執れてゐる

朝鮮總督府緊張

【急報特電】 朝鮮軍部並に陸軍省の接知には、三道嶺、大失一件、五福嶺、大失四件、昨、新羅縣衙門と連するも、警察局では直に國尉の警備隊、騎兵隊に急救助して助動艇を馳へしめた、又これが對露獨立のため一日日曜にも都下自衛部の會談、昨、昨午なる凶謀をとらふ原因である

萬法書

不逞團盛以跳梁

放火投爆狂暴を逞す

[illegible]

朝鮮總督府緊張

矢一件、不豫、遠慮、疑心、四ヶ所で、許、黒、府に達するや、幕府局では直に國尉の繁、若、陸、佐に急報を發して、開勅、御命を乞はしめた、又これが對策、立のため一日日曜にも拘らず、幕府の會談を廢し、幕閣たる閣議をとる模様である。

東京朝日

讀
賣

新聞 昭和五年六月一日

亞細亞局

第二課

別紙添付

接受 BI

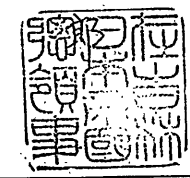
機密公第三八五號

昭和五年六月三日

在吉林

總領事

石射猪太



外務大臣男爵 幣原喜重郎 殿

鮮人共産主義團體ノ六月一日國際無産少年デーニ關スル宣傳ノ件
在吉林 高麗 青年會再建設滿洲部南滿第一地方幹部
加六月一日國際無産少年デーニ當リ發シタル宣傳
文ニ關シ御參考迄別記ノ通り報告申進ス

本信 寫送付先

北平奉天 關東ハルビン 長春

關東長官 朝鮮總督

B11

高麗共産青年會再建設滿洲部南滿第一地方幹部(吉
林根拠)名義ヲ以テ六月一日國際無産少年デー、赤キ
少年紀念日ニ當リ全滿無産少年等ニ一トト題スル
謄文宣傳印刷物(赤色紙ニ謄寫版印刷ニ付シタルモノ)
ノヲ鮮人間ニ配布セルガ其内容ハ別紙謄文ノ通
リニ付御參考迄

I-0850

六月一日國際無產少年デー
赤キ少年紀念日ニ當リ
同志等！六月一日ハ來タリ！
此ノ日コソ全世界ノ被圧迫被虐待無產兒童ガ堅固
ニ團結シ赤キ力ヲ輝カス日デアリ！全世界無產階
級ヲ抑圧シテ搾取セル資本家ヲ戰慄セシメ吾々無
産兒童ノ威嚴ヲ展開スル日デアリ！此ノ日資本家
地主等ヲ以テ組織サレタル宗教少年會ボイスカウ
ト等ノ政体ヲ暴露スヘキデアリ彼等ニ欺瞞サルル
全世界ノ可憐ナル少年等ヲ取り返ス偉大ナル闘争
ノ日デアリ！同志等ヨ！闘争ヲ準備セヨ！全世界
無產者ヲ又更ニ虐殺セムトスル第二次帝國主義戰
争ヲ前途ニ控ヘ且ソ滿洲ニ於ケル軍閥張學良及其
ノ犬群等カ吾等労働青年ヲ虐殺シ學校迄又破壞ス
ルソノ中ニ此ノ日ヲ迎ヘタ且ツ他ノ方面ニ於テハ
ソヴイエト同盟ノ社会主義的建設力日ニ増シ堅固

B11

トナリ世界革命ノ猛シキ火焰中ニ於テ此ノ日ヲ迎ヘ
タノテアル同志等！産業ノ合理化ニ依リ少年労働者
ノ搾取ハ一層甚シク朝鮮内ニ於テ行ハルル五月初メ
ノ日曜日！所謂少年デー！ノ指導者等ハ吾等革命兒童
ヲ改良主義的元凶形中ヘ陥入資本家地主ノ一層甚シ
キ奴隸ニ仕立滿洲ニ於テハ革命隊列ニ及動スル機会
主義者！一切闘争狂等ハ同志等ヲ及動ノ道具トスヘ
ク同志等！同志等ハ如斯キ總テノ反動及革命ノ波ヲ排
除シ燃エ上ル革命ノ火焰ト共ニ力強クナリツツアル
堅固ニ團結セヨ！全世界無產革命ノ交代事業ヲ力強
ク準備セヨ！次キノ口蹄ヲ高唱シツツ
1. 十四歳以下ノ幼年労働停止！
2. 産業合理化ニ依ル少年搾取反對！
3. 少年虐待封建的待遇反對！
4. 早婚反對封建打倒！
5. 義務教育制實施奴隸教育宗教々育反對党化教育強

B11

民地教育反對！
6. 御用少年団体撲滅宗教少年団体撲滅！
7. 少年運動派党的指導ノ粉碎少年探隊ノ分派対立的組織粉碎！
8. 少年探隊ノ真正ナル統一ハ階級の地域的再組織ニアル！
ル！赤牛少年探隊萬歳！國際少年デ！萬歳！！打倒一切帝國主義！！全世界無産少年ハ世界革命ノ勝利ノ爲メ常に準備！

一九三〇年六月一日

高麗共産青年會再建設滿洲部南滿部一地方幹部

B11

I-0850

昭和五年六月四日

第二

三

昭和五年六月拾壹日接受

敬啟者

昭和五年六月四日

在吉林

總領事石射猪太郎

外務大臣男爵幣原喜重郎殿

中國共產黨ノ活動ニ関スル件
中國共產黨ノ各地ニ於ケル活動振ニ関シ別紙情報
御参考迄報告申進ス

本信寫送付先、北平、奉天、間島、長春、ハルビン

関東長官、朝鮮總督

別紙添付



I-0850

中國共產黨ノ活動ニ関シテ記事項ヲ謀知セリ眞偽
判明セサルモ時局柄注意ヲ要スヘキモノト思料セ
ラル

左記

一 今回間島地方ニ於テ急起セル暴動ハ中國共產黨
ニ於テ鮮人共産主義者等ヲ指導シテ敢行セシメ
タルモノニシテ其費用四千円ヲ支出シタリト初
シテ商滿地方ニ支鮮人三十名ノ應援隊ヲ分派
シ五月三十日より六月十日迄ノ間ニ官廳及軍要
建物ヲ破壊スヘキ計劃ヲ爲シ居レリト
一 中國共產黨ハ廿六日上海ニ置キ省縣ニ下級機關
ヲ設置シ現今省委員會ニ對シテハ事業費ヲ支出
シ居レルカ縣機關ニ對シテモ其成績ニ從ヒ事業
費ヲ支出スル筈ナリト而シテ東省ニハ特ニ滿洲

B11

省委員會ヲ奉天ニ設置シ鮮人共産黨員トノ聯合ヲ
企圖シ居レリト

但中國共產黨ト在支鮮人共産黨トノ聯合工作ハ第三國際
共産黨ヨリノ指令ニ依ルモノナリト云フ

一 上海ニハ鮮人主義者ノ爲メ講習所ヲ本年九月迄ニ
開設シ講師ハ主トシテ支那人ヲ任用シ鮮人ハ通譯
員トシテ採用スルコトニナルヘシト云フ

B11

朝鮮總督府

第二編 三

昭和五年六月拾貳日接受

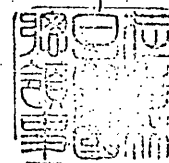
機密公第三九五號

昭和五年六月五日

別紙添付

在吉林

總領事石射猪太郎



外務大臣男爵幣原喜重郎殿

鮮人共産主義ML派人物ノ行動ニ関スル件

磐石及柳河地方ヲ根據トシテ活動スル鮮人共産主義ML派幹部朴允瑞申春劉遠道等ノ行動ニ関シ別記ノ通り報告申進ス

本信寫送片先、奉天、閔島、海龍

関東長官、朝鮮總督

I-0850

鮮人共産主義M.L.派巨頭朴元彬ハ本年三月六日間
 島ヨリ敦化ヲ經由シテ來吉シ海東棧ニ數日間滞在
 後磐石地方ニ赴キタルカ本名ハ末吉前問島ニ於
 テ部下ヲ指揮シ鉄血團ヲ組織シテ軍資金ノ調達ヲ
 企テ五六月間ニ間島一帯ニ於テ強奪セル金類ハ
 ハ六千圓ヲ下ラスト云フカ尙M.L.派幹部ニ於テハ
 之レヲ繼續スル爲メ磐石柳河地方ヲ排徊シ居タル
 同族人物申春及劉遠道兩名ヲ派遣スルコトナリ
 右兩名ハ五月二十六日敦化ヲ經由シ入問シタリト
 傳込リアリ申又劉ノ人相等ハ判明セサルニ至リ
 シタル處ニ依レハ申春ハ五月五日磐石縣興隆溝ニ
 於テ海龍縣北山城子ヨリ農地觀察ノ爲メ來レル韓
 復ヲ暗殺シタル正犯者ナリト観テアリ之レ等ノ行
 ニ對シテハハ相當注意ノ要アルハ前記朴元彬ノ
 最近動靜ハ明ナラサルニ磐石柳河地方ヲ徘徊シ
 居レルモノ、如シ

B11

I-0850

朝鮮亞局

第二編

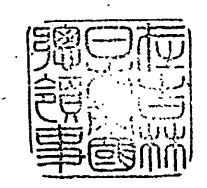
昭和五年六月拾貳日接呈

機密公第三九六號

昭和五年六月五日

在吉林

總領事 石射猪太郎



外務大臣男爵幣原喜重郎 殿

朝鮮共產黨再建設滿洲部、地方代表會議、開スル件

六月六日敦化ニ於テ開カルル朝鮮共產黨再建設滿洲部、地方代表會議ニ関シ別記ノ通り報告申進ス
本信寫送付先、北平奉天、開島、ハルビン、長春、海龍、通化、

朝鮮總督、関東長官、

朝鮮共產黨再建設滿洲部(吉林及敦化根拠)ニ於テハ未ル
六月六日地方代表會議ヲ敦化ニ於テ召集スルコト、
ナリタルヲ以テ吉林ヨリハ崔煥(李寬珠)去ニ日吉敦
列車ニテ出發同地ニ伺ヘリ尹滋英、柳東植其他數名
ノ幹部等ハ先月來敦化ニ赴キ居レルカ今回ノ會議
ニ討議セラルベキ主要ナル事項ニ就キ謀知シタ
スルコトニ再建設滿洲部委員會ヲ党トシテ完全ニ組
成スルコトニ再建設滿洲部ハ多部分以前各派、首領者
ヲ清算シ新幹部ヲ充用スルコトニ再建設滿洲部ニ
テ軍事委員會ヲ緊急組織シ國民府トノ關係ヲ解決
スルコト等ニシテ相當重要性ヲ帶ヘルモノト思方
マラル引續注意中

B11

I-0850

一九二八年十二月、コヤインテ、朝鮮問題ニ對
 スル決定ニ基キ朝鮮共產黨再組織運動起ルヤ満洲
 設満洲部(所謂再建)朝鮮共產黨再建
 員會満洲總局(ML)派朝鮮共產黨再建
 員會三派鼎立シテ再組織運動ニ没頭シ來リタリ
 然ルニ從來遼東ニシテ夫共産運動ハ露支衝突後
 支那側ノ失敗ニ因リ最近著シテ治況ヲ呈スルニ至
 リ共劃期の治曜ハ延テ満洲ニ於ケル朝鮮人共産運動
 對シ在來ノ朝鮮延長主義ヲ揚棄シテ中國共産黨
 ノ指導下ニ入ルコトヲ強要サルハコトハナレリ
 於此乎在満朝鮮人共産主義者間ニ在リテハ各派相競
 フヲ中國共産黨ニ加入スベク奔走中ナリシ處(既報
 五五九)ヲ參照)ML派及大曜派ハ多数幹部等ハ

BII

既ニ中國共産黨満洲省委員會ニ加入(最近同派共朝
 鮮共產黨満洲總局ナレ名稱ヲ使ワズ之ヲ廢止
 シタリ)シ中國共産黨省若シハ縣委員會名義ヲ以
 テ各種朝鮮文宣傳印刷物又ハパンフレットヲ頒
 布シツアリ
 然ルニ朝鮮共產黨再建運動満洲部ニ於テハ本年六月
 六日頃吉林省敦化縣ニ代表會議ヲ開催(代表會議
 召集ノ件六月五日付機密文三九六)號報告參照)シ在
 末ノ満洲ニ於ケル朝鮮共產黨再組織運動ハ朝鮮延
 長主義ヲ繼續シ來リシルニ時局ノ推移ニ鑑ミ共過
 誤ヲ清算シ朝鮮トノ組織關係ヲ斷絶シ中國共產黨
 ニ加入シ共指導下ニ在リテ活動スベクコトヲ決議
 シタルガ中國共產黨ニ個人的ニ全部カ加入スル迄
 ニハ相當長キ過程ヲ要スベクサリトテ國策的ニ加
 入スルハ不可ナリ大體各個ノ加入ヲ終ハル迄ノ過
 渡期ニ於ケル在満朝鮮人共産主義者ノ現階段ノ任
 務ヲ能恰的ニ遂行シ得ル様非黨の共產主義者タル

BII

一、世界情勢ト中國革命
 二、中國革命運動ノ當面情勢
 三、滿洲朝鮮人共產主義運動ノ現階段ノ特徵ト我等
 四、朝鮮共產黨再建設滿洲部ト其他ノ共產主義諸
 五、中國共產黨ト滿洲朝鮮人共產主義者同盟
 六、本同盟ノ當面主要スローク（十六項）
 七、本同盟ノ當面任務
 八、戰界戰術ノ開スル任務
 九、政治的組織的方面ニ関スル任務
 十、労働大衆戰取ノ任務
 十一、労働運動ニ於ケル任務
 十二、農民運動ニ於ケル任務
 十三、農民運動ニ於ケル任務
 十四、青年運動ニ於ケル任務
 十五、青年運動ニ於ケル任務
 十六、婦人運動ニ於ケル任務
 十七、婦人運動ニ於ケル任務
 十八、愛國主義的幻想ニ對スル闘争任務
 十九、反動民族主義者ニ對スル闘争任務
 二十、協同戰線ニ於ケル任務
 二十一、就十規定ニ於ケル任務
 二十二、全文ハ別添譯文ノ通りニシテ今後在滿朝鮮人共產

一、世界情勢ト中國革命
 二、中國革命運動ノ當面情勢
 三、滿洲朝鮮人共產主義運動ノ現階段ノ特徵ト我等
 四、朝鮮共產黨再建設滿洲部ト其他ノ共產主義諸
 五、中國共產黨ト滿洲朝鮮人共產主義者同盟
 六、本同盟ノ當面主要スローク（十六項）
 七、本同盟ノ當面任務
 八、戰界戰術ノ開スル任務
 九、政治的組織的方面ニ関スル任務
 十、労働大衆戰取ノ任務
 十一、労働運動ニ於ケル任務
 十二、農民運動ニ於ケル任務
 十三、農民運動ニ於ケル任務
 十四、青年運動ニ於ケル任務
 十五、青年運動ニ於ケル任務
 十六、婦人運動ニ於ケル任務
 十七、婦人運動ニ於ケル任務
 十八、愛國主義的幻想ニ對スル闘争任務
 十九、反動民族主義者ニ對スル闘争任務
 二十、協同戰線ニ於ケル任務
 二十一、就十規定ニ於ケル任務
 二十二、全文ハ別添譯文ノ通りニシテ今後在滿朝鮮人共產

運動 - 至大ノ影響ヲ来スベシ
 共後六月二十七八日 - 巨リ吉林省城河内街光東
 醫院 - 於テ滿洲朝鮮人共産主義者同盟第一次大會
 ヲ開催サルガ出席者ハ
 尹滋英、崔東旭、柳東植、金順、張崇珩、
 宋尚夏、崔煥、朴振、李雄、高銘信、
 韓一光等
 ニレテ中國共産党ニ加入スルコトヲ最後ノ目的ト
 シ夫レ這過渡期の機關トシテ本同盟ヲ組織シ在滿
 鮮人共産主義者ハ前記政治、テ、之、趣旨ニ依リ本
 同盟、旗幟下ニ集合セシメ可及的速カナル期間内ニ
 中國共産党ト交渉シテ其手領ヲ得スベキコトヲ決
 議シタルカ中國共産党トノ交渉ハ朴振、崔煥、安鵬ヲ
 シテ當ラレハルコトナレリ
 然ルニ本同盟ノ構成分子タル再建設派ハ元來派閥
 熱、獨、首領、多分ニ抱持スル比較的智識上層
 階級ノ集合體ナリニ理論方面ニノ、恥ヤ群衆的ノ

事業ハ皆無ニシテ派党的勢力ノ延長ニノ、汲々トシ
 且又黨員中ニハ本同盟ヲ組織シタルハ最高幹部
 數者カ獨斷ニテ爲シタルモノニシテ一般黨員ヲ無
 視スルモノナリトテ之、分、非難シ不平ヲ懷ク者マ
 アリテ派中派ヲ作リ既ニ分裂ノ兆アリ統一ハ蓋シ
 困難ナルヘキニ中國共産党ニ加入スルコトニ對シ
 テハ一致シ居レルヲ以テ中共党トノ聯絡關係ト其
 推移ニ對シテハ深甚ノ注意ヲ要スベキモノト思料
 ス

亞細亞局

第二課 第三組

昭和五年六月拾貳日接受 BI

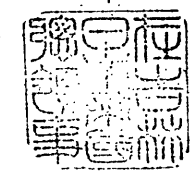
機密公第4・五號

昭和五年六月五日

別紙 添付

在吉林

總領事 石射 猪太郎



外務大臣男爵幣原喜重郎 殿

鮮人共產主義宣傳紙「赤旗」第二號入手ニ関スル件

鮮人共產主義宣傳紙「赤旗」刊行経緯及同紙第二號
掲載記事等ニ関シ別記ノ通り報告申進ス
（附）四月十七日付機密公第3・25号

本信囑送付先 北平、奉天、川崎、ハルビン、長春、海龍、通化、

関東長官、朝鮮總督

I-0850

鮮人、共產主義宣傳紙「赤旗」創刊號（一九三〇年三月二十日）
 時（發行）伴、関シテハ既報（前九日付松尾松巻公）シ置キタル處
 ナルカ本紙ハ曾テ在中國籍人青年同盟ヲ根城トス
 ル鮮人共產主義者M.L.派人物等カ主義宣傳ノ爲メ
 天津佛租界ニ於テ發刊シ居タル「階級闘争」ハ或ル事
 情ニ依リ停刊スルコトニ決定シ二月二十五日附號
 外ヲ以テ其旨發表（前八日付松尾松巻公）號報告参照）シ一時宣傳紙
 外ハ如ク末スニ至リタルヲ以テ同派人物等ハ之レ
 ニ代ハルハク更ニ「赤旗」ヲ發行スルニ至リタルモノ
 ニシテ吉林省磐石縣ニ振興スル在籍農民同盟機關
 紙ノ發行所タル農民運動社ヲ通信連絡處ニ當テ秘
 密刊行シ居レルモノナリ其後四月二十日附第二號
 ヲ發行セルモノ一部入手シタル處記事ノ主要目次
 ハ九記、如クナルカ談記事中「破天荒」金中國ソゾ

B11

エート區域代表大會下題シ二月十五日中國共產
 中央委員會及中華全國總工會中央執行委員會發起
 名義ニ係ル五月三十日ヲ期シ全國ソガエト區域
 代表大會ヲ召集スル旨ノ宣言書ヲ轉載シアリ本大
 會ハ實現セラレタルヤ否ヤ不明ナルモ其計劃ハ相
 當注意ニ値スルモノト思方セララルヲ以テ參考ノ
 爲メ譯文ヲ添附シ置ケリ

B11

九 記

赤旗 第二號 一九三〇年四月二十日

目次(主要題目ノミ)

一 社説(五一紀念勅員令)

全滿朝鮮革命群眾ニ

一 帝國主義者、最近軍備實情

一 C C P、五年經濟計劃ハ四年内ニ完全實現

一 破天荒、全滿國ソビエト區域代表大會

一 資本家地主政權ヲ顛覆シ

一 勞農ソビエト政府ヲ建設ハル紅軍ノ陣勢

一 革命高潮期ニ在ル

最近東滿群眾ノ反帝闘争

赤旗補刊 一九三〇年四月二十日

一 空前ノ大勝利ヲ博シタル額穆西甸子ノ小作争議

一 遼山幽谷ノ農民争議

一 柳河農民ノ勇敢ナルボーイコット

以上

B11

I-0850

一九三〇年四月三日發行「赤旗」第二號、二面記事抜譯
破天荒、全中國ソヴィエト區域代表大會

五月三十日ソヴィエト領土ニ開會
五月一日××ニ準備會召集

在滿朝鮮農民代表二人ヲ請邀スト

去ル二月十五日中國共產党及全中華總工會、發起宣言ヲ以テ五月三十日ソヴィエト領土内ニ全中國ソヴィエト區域代表大會ヲ開催セラルトノコトナルカ其ノ準備會ハ五月一日××ニ於テ開カレ主権者側ハ在滿朝鮮農民代表二人ヲ派遣スルコトヲ請北シタルカ其ノ宣言ハ次ノ通り

全中國各ソヴィエト區域、勞力群眾諸君！

全中國紅軍游擊隊、將校兵士諸君！

全中國赤色工會、農會、青壯會、反帝同盟、一切革命團體及全中國勞働者農民、一切勞力群眾諸君！

三年以來康綽資産階級國民党ノ反動統治下ニ於テ全中國革命群眾ハ彼等ノ死物狂化セル白色恐怖ノ壓迫ト繼續不斷ノ軍閥混戰ノ苦痛及帝國主義資本家康綽地主ノ先惡ナル進攻ヲ受ケタ

如斯全中國的政治經濟ノ客觀的危機ハ全中國革命群眾ノ闘争ヲ益々擴大セシメ三年以來全中國ノ革命闘争ハ國民党ノ殘虐ナル反動暴壓ヲ以テスル又消滅セシメ得ナカッタノバナラスソレハ又日ニ益々發展ノ形勢ヲ示シテ居ル北京人カ車夫ノ市街駭害山礦山勞働闘争ノ發展ハルビソノ勞力群眾ノ蘇聯擁護示威青島紗廠工人ト日本帝國主義及國民党トノ武裝衝突武漢紗業煤業闘争ノ擴大四川二十萬鹽井勞働者ノ闘争景鎮十餘萬磁業勞働者ノ罷工告荒及廣州海員ノ闘争福建勞働者ノ蘇聯擁護示威及十月革命紀念示威上海勞働者ノ絶間ナキ政治的經濟的闘争武装的衝突電燈廠棉紗廠電車電汽等々ノ絶間ナキ罷工全國黃色領首ノ破産赤色工會ノ發展等！此ノ總テノ半年以來ノ事實ハ都市無産階級力既ニ國民党ノ殘虐ナル壓迫ヲ衝破シタルコトノ都市ニ於テノ階級闘争ノ尖鋭化ノ領域ハノ疾走ヲ明白ニ示シテ居ル故ニ全國士兵群眾ノ革命化兵變ノ

B11

B11

増加蘇聯及紅軍游撃隊へ、投入、増加ハ頗ル偉大
ノ革命的意義ヲ持ツテ居ルモノナル此レカ爲メ
目前全國ソヴィエト連域ノ擴大紅軍游撃隊ノ發
展土地革命ノ深入農民武装闘争ノ激烈等ハ矢張り
革命高潮ノ到来ヲ表示スル主要ナル徵象ナル
斯クシテ目前全國革命闘争ハ既ニ反動統治ニ對ス
ル積極進行ニ達シタル爲メ全國革命群衆ハ必ス
全國的範圍ニ於テ革命高潮ヲ積極準備スヘキテ
テリ一切ノ進行ヲ擴大セシムル一切策略ノ路線ヲ
積極準備セオハナラヌ目前革命形勢ノ前ニ在ル主
要任務ハ即チ全國革命闘争特ニ都市闘争ト農村闘
争トシテ適當ナル配合アラシムルニアル全國紅軍
游撃隊及ソヴィエト區域ノ發展ハ既ニ長江流域及
珠江流域ニ普遍シテ而シテ北方農民ノ武装闘争モ
亦等シク益々擴大ノ過程ニ在リシカ爲メ闘争ノ
配合問題勞農聯合問題ソヴィエト及紅軍擴大問題土
地深入問題勞農政權建立問題游撃戦争及農民武装

B11

擴大問題全國士兵ヲ號召シ紅軍ニ投入セシムル問
題及全體革命闘争ノ農村中ニ在リテノ策略問題ハ
總テカ非常ニ加重シタルヲ以テ解決ナル解決ヲ要
スルモノナル
斯カル基礎ニ於テ中國共產黨及中華全國總工會
ハ特ニ本年ノ赤キ五月三十日ヲ期シ全國ソヴィエト
區域代表大會ヲ召集シ一切重要問題ヲ一切解決セ
ムトシ廣東廣西福建江西湖南湖北安徽河南四川各
ソヴィエト連域各紅軍各游撃隊及其他各省ノ一切
農民團體ト武装組織ハ總テ責任アル代表ヲ派送シ
此全國的偉大ナル革命的代表會議ニ参加スヘキ
アル此ノ會議ハ必ス全國勞農革命運動ノ特ニソ
ヴィエト紅軍ニ對シテ非常ニ偉大ナル幫助ヲ與フ
ルモノナルソレハ必ス多ク具體的政治任務及
策略路線ヲ指出スヘキアテリ全國的ニ迫リテ革命
高潮ヲ一層促進セシメ豪紳資産階級ノ政權ヲ
顛覆シソヴィエト政府ヲ建立スヘキナル

B11

全國一切革命團體ハ總テ此ノ偉大ナル工作ヲ共同
ニ補助セヨ―斯クシテ全國ソヴイエト區域大會ノ成
功ト勝利ヲ促進セヨ―
中國勞農聯合萬歲―
ソヴイエト中國萬歲
全國ソヴイエト區域代表大會萬歲
一九三〇年二月十五日
中國共產黨中央委員會
中華全國總工會中央執行委員會

B11

I-0850

✓
陸軍省

第二編 三

昭和五年六月拾日 接収

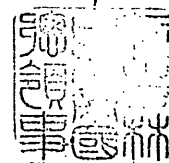
機密公第四〇五號

昭和五年六月五日

✓ 別紙 添付

在吉林

總領事 石射猪太郎



外務大臣男爵幣原喜重郎 殿

鮮文共產主義宣傳紙「滿洲勞力者新聞」第四號
入手ニ関スル件

本件ニ関スル鮮人情報別記ノ通り報告申進ス
本信寫送付先、北平、奉天、開島、長春、

関東長官、朝鮮總督、
(五月二日付機密公第三〇二號吉林ニ於ケル朝鮮人例「メーデー」状況ニ関スル件三ノ四開册)

I-0850

朝鮮共産党再建設滿洲部(吉林敦化根拠)機關綫「滿洲
力告新聞」(秘密刊行物)ハ發行ハ都度入手報告シ居
トコロナル力更ニ五月三十日附第四號ヲ入手セルヲ
以テ査閱スルニ凡記目次ノ如キ記事ヲ掲載シ在リ何
等御朱房迄

B11

I-0850

滿洲勞力者新聞 第四號、一九三〇年五月三十日發行

目次

- 一、五世慘案五週年紀念ニ備リ
全中國ソヴイェト大會ヲ迎ヘツ
- 一、愛讀者同志等
勞力者新聞ヲ防衛セヨ
- 一、五世慘案宣傳大綱
- 一、東北四省ノ暴動ハ準備出来タ
慌忙ナル軍閥ハ共產黨員ヲ擄奪
- 一、朝鮮新興炭礦ノ三百抗大盟罷
- 一、中國五世慘案
南京政府ノ治下ニ在ル江西全省ニソヴイェト政權
確立
- 一、各地ノメーデー紀念戰報
東滿各地ノ開爭的紀念維持
ハルビン日領館襲撃
南滿各地ノミーンチング

B11

- 朝鮮各地ノ大示威運動
日本勞働階級ノ英雄的示威
- 一、東省韓族同鄉會ハ打倒サレタ
（既報四月十日付信、第五四号、
第二九一号）参照）
- 一、在滿韓人反帝同盟ヲ解体シ
全滿韓人反帝大同盟創立籌備會ハ成立シタ
（既報四月十日付信、第五四号、
第二九一号）参照）

（魚）

- 一、無産者ノ祖國ヨリ追出サレタル
「クルナワシ」ハ「アシスト」テアル
- 一、農民ノ血ヲ採取シテ行ク
全盛錫ヲ打倒セヨ
- 一、全滿韓人反帝大同盟創立籌備會ノ機關紙
「反帝國主義」

以上

B11

I-0850

朝鮮總督局

機密公第407號

第二編 第三編

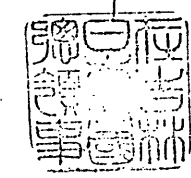
昭和五年六月一日

別紙 附

昭和五年六月六日

在吉林

總領事 石射猪太郎



外務大臣男爵幣原喜重郎殿

鮮人團體在滿農民同盟中央常務委員會、全支那ソヴ
エト區域代表大會ニ對スル宣傳文配布ニ関スル件
鮮人共產主義者Mハ在滿農民同盟及在中國韓
人青年同盟ヲ乘取之ヲ指導シ磐石柳河其ノ他各地
ニ於テ民族團體等ト抗争スル一方又彼等ハ既ニ先
ニ中國共產党ニ加入シ其ノ一部役割ヲ演スハッ
近來盛ニ在滿韓人農民群眾ノ永遠ノ解放ハ中國共
産党ノ領導下ニ於テノミ得ラル旨ヲ主張シ來リ

I-0850

タルカ更ニ五月三十日上海ニ関催ノ由ヲ傳ヘラル
ル全中國ソヴィエト區域代表大會ニ滿洲韓人農民
ノ代表トシテメルハ派人物ニ名ヲ派遣シタル模様
豈傳文ヲ發シタルニ付御参考迄報告申進ス
本信寫送付先北平、奉天、上海、間島、ハルビン、長春、海龍、
通化、関東長官、朝鮮總督

B11

I-0850

鮮人團體在滿農民同盟中央常務委員會ノ全支那ソグ
 エート區域代表大會ニ對スル宣傳文配布ニ関スル件
 吉林省磐石縣ニ根據スル鮮人社會主義團體在滿農
 民同盟中央常務委員會ニ於テハ五月十五日附「全中
 國ソグ」エート區域代表大會ヲ前ニ控ヘ全滿韓人
 農民群衆ニ「ト顯シ中國共產党及中華全國總工會
 ニ於テハ五月三十日××ニテ全國ソグ」エート區
 域代表大會ヲ召集シタ此大會ハ解放セラレタル
 勤勞農民兵士等ノ代表會ノ政府！ソグ「エート政
 府ヲ建設スル偉大ナル全國的革命的會議」アル此
 大會ニ滿洲ヨリ百萬韓人農民ノ代表二人カ主催者
 側ノ請邀ニ應シ出發シタ諸君ハ此ノ偉大ナル大會
 ヲ積極支持スヘシ！中國共產党ノ指導下ニ於テノ
 永遠ニ解放セラレヘキ在滿韓人農民群衆ハ中國
 勞働革命ニ直接參加シ豪紳資産階級國民軍閥政

B11

有テ顯露シ日本帝國主義ヲ打倒シ勞働者農民兵士
 ノソグ「エート政府ヲ建設セホナ」ヲ又テ末尾
 ニ「ト顯シ對スル多散ッ不穩口號ヲ列記セル別添譯
 文ノ如キ宣傳印刷物（原文ハ朝鮮文）ニ各地鮮人主義
 者團體間ニ配布セルカ本大會カ果シテ實現セラレ
 タルヤ否ヤハ不明ナリ尚主催者タル中國共產党及
 中華全國總工會名義ノ大會召集ニ関スル宣言書ナ
 ルモノハ既報（五月五日號）ニ載セシメタル所ニ
 示旗「第二號」ニ譯出シアルニ付参照相成度

B11

譯文

全中國ソヴィエト區域代表大會ヲ前ニ控ヘ

全滿韓人農民群衆ニ

此ノ偉大ナル會議ヲ積極支持セウ

全滿韓人農民群衆諸君！全中國紅軍遊撃隊及ソヴィエト區域ノ發展ヲ既ニ長江流域及珠江流域ニ普及シ北滿農民ノ武装闘争ニ益々擴大スル過程ニ在リ闘争ノ配合問題、労働聯合問題、ソヴィエト及紅軍擴大問題、土地革命深入問題、労働政權建立問題、遊撃戦争及農民武装擴大問題、全國士兵ヲ號召シ紅軍ニ投入セシムル問題、全體革命闘争ノ農村中ニ於ケル策略問題等ハ總テ緊切ナル解決ヲ要スルモノヲアル而シテ中國共產党及中華全國總工會ハ赤キ五月ニ際シ一切重要問題ヲ解決セハト特ニ全國ソヴィエト區域代表大會ヲ召集シタ

諸君！此ノ大會ハ全中國労働者、農民、兵士、ソヴィエト政府ノ基礎ヲアル、豪紳資産階級國民黨ノ反動統治

B11

治群ヲ打倒シ解放セラレタル労働者農民兵士等ノ代表會ノ政府！ソヴィエト政府ヲ建設スル偉大ナル全國的革命的會議ヲアル事キ五月三十日××ニ於テ開カレル此ノ大會ニ滿洲ヨリ百万韓人農民代表ニ人カ中國共產党中央委員ト中華全國總工會中央委員會ノ請選ニ應シ出席セタ

諸君！此ノ偉大ナル大會ヲ積極支持セヨ！

恐慌期ニ入レル帝國主義ノ政府ハ世界資本主義經濟破綻打開ノ爲メ、戦争準備費ヲ労働群衆ニ負担セシメムトシテ店リ銭荒ノ名目下ニ産業ノ合理化ヲ施行シ既ニ千八百萬ノ失業者ヲ出シ労働階級革命ハ益々激昂シテ生命ノ高潮ニ眩レタル彼等ハ再ヒ死物化シ革命終極ノ勝利ヲ群衆屠殺ヲ積極恣行シテ準備軍増加、警察増設、弱小國ニ軍隊ヲ大々的進出等當分中國ニハ日英米佛等ノ帝國主義軍艦カ三十隻近ク出動シ労働群衆ヲ屠殺シテ居ル斯カル中ニモ勇敢ナル中國労働紅軍ハ中國共產党領導下ニ國

B11

I-0850

氏党軍隊ヲ繼續撃破シ資本家地主ヲ打倒シソウイ
エト區域ヲ廣メ既ニ十四省ニ亘リ果敢ニ南昌占領
ヲ以テ江西省ソウイエト政府ヲ建設シタ而シテ再
ヒ赤十五日湖北省ソウイエト政府建設ヲ口號ト
シテ武昌漢口ヲ進攻中ニ在ル斯クシテソウイエト
區域ハ日ニ廣マリ國民黨ハ列強帝國主義軍隊ヲ益
々請邀スルノアル、
諸君如斯形勢ニ於テ開カルル全國ソウイエト政府
ノ基礎タル全中國ソウイエト區域代表ヲ前ニ控ヘ
滿洲ヨリハ中國勝働者農民カ既ニ大會ノ成功ト勝
利ヲ促進スル工作ヲ展開シタ鉄道、鑛山、工場、街頭ニ
於テ罷工ト暴動ヲ以テ而シテ列ル處兵士等ノ暴動
等！豪紳資本階級國民黨ト日本帝國主義打倒戰
ヲ積極展開シ居ルヲ以テ中國共產黨ノ指導下ニ於
テノく永遠ニ解放セラルヘキ在滿韓人農民群眾ハ
國民黨韓族總聯合會及一切走狗機關ヲ積極打倒シ
中國労働革命ニ直接参加シ豪紳資産階級國民黨軍

B11

閩政府ヲ顛覆シ日本帝國主義ヲ打倒シ勝働者農民
兵士ソウイエト政府ヲ建設セハナラヌ故ニ吾等
ハ代表派遣ニ止マルコトナク次ノ口號ヲ力強ク實
踐シ以テ偉大ナル此ノ大會ヲ支持セウ
全國ソウイエト區域代表大會ヲ絕對擁護セウ
豪紳資産階級國民黨ト日本帝國主義ヲ打倒セウ
軍閥戦争ヲ土地革命戦争ニ轉換セウ
土地ヲ沒收シ民族ノ差別ナク分配セウ
工作料ト債務ヲ支拂ナカレ
在滿韓人農民群眾ハ中國共產黨ノ領導下ニ於テノく解
放レ得ラル、
中國革命ノ總本營タル中國共產黨ヲ死守セウ
帝國主義ヲ二次掠奪戦争ヲ世界革命戦争ニ交換セウ
CCPPヲ武装ヲ以テ死守セウ
農民自衛隊ヲ堅實ニ組織セウ
國民有韓族總聯合會及一切走狗輩ヲ撲滅セウ
閩發隊ヲ撲滅セウ

B11

I-0850

ソグイエトノ中國萬歳
全國ソグイエト區域代表大會萬歳
一九三〇年五月十五日
在滿農民同盟中央常務委員會

B11

I-0850

亞細亞局

第三編

昭和五年六月拾貳日接受

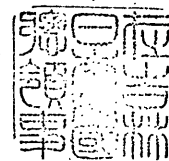
機密公第四〇九號

昭和五年六月六日

別紙添付

在吉林

總領事 石射猪太郎



外務大臣男爵陸原喜重郎殿

鮮人私立鷄林學校同盟休學ニ対スル聲討文及檄文
配布ニ関スル件

在吉林省永吉縣東坨水河子鮮人私立鷄林學校同盟
休學ノ成行ニ関シ更ニ別記ノ通り追報ス

(五月二十八日付拙信機密公第三七二号参照)

本信寫送付先奉天長春関東長官朝鮮總督

I-0850

BI**BI**

第一譯文
聲討文

幼稚ナル吾等ヲ育テ教ヘラルハ、父老兄弟等一
考フルタニ、幼キ阿蒙カ振リ、今回ノ學校當局ノ行動
ハ、最後のニ至惡化シテ、既ニ、該封建式強圧的蠻行ニ
犠牲トナシ、二十余名ノ幼稚ナル同志ヲ強制的ニ登校セ
シメテ、居ルカ吾等ハ、若キ心臓カ躍リ、歯噛ミシテ忿怒ヲ
忍ビ難ク、此ノ紙ヲ以テ不憚ナル涙ヲ流シ、彼等ノ本質ヲ
率直ニ露出セシメ聲討セムトスル

父老兄弟等一

前回ノ吾等ノ願示書ヲ見ヌラハ、所謂教育トシテ幼稚ナル
學生ニ對シ、敢行シテ暴行ハ、概畧御存知ノコト、思料スルニ其
後、五月八日校長李寬一ハ英雄式命令ヲ以テ、剛巧ナル學生
ヲ退學停學一、如斯六七名ノ學生ヲ、処罰シテ幼稚ナル學
生ニ對シ、強圧的の手段ヲ以テ威脅シ、幼キ氣分ヲ滅縮セシメ、
忠實ナル自分、以テ、以テ、以テ、以テ、以テ、以テ、以テ、以テ、
的ニ取リ、クル後、程々ナル手段ヲ、盡シ、同盟休學ニ對ス

BII

ル辨明書ヲ書カホハ、教授シナリト威脅シ、強制的ニ
學生大會ヲ開キ、學校當局ノ命令的決定ヲ以テ、吾等
ハ學校ニ對スル不平ニ、今、今回ノ同盟休學ハ、學校
當局ノ調査シタルカ、如ク李寬一ト云フ青年ノ教授
一依リ、金學範、沈基泰、個人行動ヲアリ、沈金兩同志
ノ口ト李寬一ノ教授ニ依リ、同盟休學シ、下、四形
址ナキ、該偽ノ辨明書ヲ、黃海榮ト云フ學生ヲ、強制的
的ニ、謄寫版ノ原紙ニ書カセ、(強制的ニ書カセ、トハ、黃
海榮ノ直接ノ言)

父老兄弟等一

上レ如何ニ、驚クヘキ彼等ノ行動ニ、レテ社會的ニ其、
任スヘキ問題ヲアラウカラ、所謂教師曹振清君ハ、曰ク、學
校ノ權利ハ十分ノ一ハ、學父兄ニアリ、十分ノ九ハ、校長ニ
ルト云フ、自己上、官ノ權利ヲ主張スルノニ、壯觀ヲハアルカ
幼稚者ノ、拘カ裂クル不平ヲ解決セムトスル吾等ノ正當
ナル同盟休學ヲ、指シテ、李寬一ト云フ青年ノ教授ナリ
トシテ、自分等ノ孤獨ノ道具トシテ、使用セムトシ、斯カル

BII

大、如キ行動ハ如何、其、眞、嬖、愛、トシテ、學、ッ、吾、等、ハ、
激、ッ、何、ナル、カ、ヲ、知、ラ、ス、耳、ソ、或、ル、青、年、ノ、教、唆、ニ、陷、
ハ、レ、ラ、レ、同、盟、休、學、シ、タ、ト、實、ニ、自、分、等、ノ、愚、キ、類、ヲ、全、
然、隠、シ、テ、吾、等、ノ、不、平、ト、要、求、ヲ、無、條、件、ニ、消、滅、セ、ハ、ト、
ス、ル、校、長、李、寬、一、殊、ニ、放、師、曹、振、清、尹、微、等、ニ、ア、ラ、サ、レ、
ハ、出、来、ナ、イ、惡、意、ノ、辨、明、ヲ、ア、ル、
可、愛、ヲ、ワ、タ、下、サ、ル、父、兄、弟、等、！
吾、等、ハ、他、人、ノ、放、唆、ニ、ヨ、リ、盲、從、ス、ル、愚、者、ヲ、ナ、イ、且、ッ、李、尤、
一、ト、云、フ、青、年、ノ、卑、僕、ヲ、ナ、イ、ノ、テ、ア、ル、殊、ニ、彼、等、ノ、些、細、ナル、
怨、怒、ニ、勇、シ、テ、吾、等、ノ、血、ヲ、其、儘、滅、滅、セ、レ、ム、ハ、キ、テ、ナ、イ、吾、等、
ハ、唯、一、般、學、生、ノ、不、平、ヲ、代、表、シ、鷄、林、學、校、ノ、眞、正、ナル、教、育、
機、関、ト、爲、サ、シ、ハ、ル、爲、メ、彼、等、ノ、罪、惡、ヲ、聲、討、ス、レ、ト、同、時、
ニ、幼、稚、ナル、血、カ、乾、ク、迄、闘、争、ス、ヘ、キ、旨、ヲ、一、般、ノ、前、ニ、堅、ク、
誓、約、ス、ル、モ、ノ、ア、ア、ル、
學、校、當、局、ハ、今、回、敢、行、シ、タ、ル、罪、惡、ヲ、社、會、的、ニ、謝、罪、セ、ヨ、
教、師、曹、振、清、尹、微、等、ヲ、逐、出、シ、ヨ、ウ、
曹、振、清、尹、微、等、ヲ、社、會、的、ニ、断、乎、タ、ル、處、罰、ヲ、與、ヘ、ヨ、ウ、

B11

城、性、ト、ナ、レ、ル、同、志、等、ヲ、救、出、シ、ヨ、ウ、
階、級、的、利、益、ヲ、代、表、ス、ル、教、授、ヲ、與、ヘ、ヨ、
在、滿、學、生、大、衆、ハ、學、生、大、會、ヲ、開、キ、吾、等、ノ、同、盟、休、學、
ヲ、擁、護、應、援、セ、ヨ、
鷄、林、學、校、ヲ、死、守、シ、ヨ、ウ、

一、九、三、〇、年、五、月、十、五、日
鷄、林、學、校、學、生、大、會、第、二、次、執、行、部、

B11

第二譯文

所謂「鷄林學校々當局」ノ罪惡ヲ擧ゲ
在滿農民青年學生諸君ニ檄ス

同志等――

吾等幼稚ナル學生カ先虎ノ如ク呼フ不平中ヨリ道
ル、封建殘滓全東ニ一教授ヲ受ケス
封建的奴隸教育ハ反對シ
階級的利益ヲ代表スル教授ヲ排ヘ――
ト云フ彼等ノ要求條件ニ聞イタ、幼キ血ヲ赤ク染メタ
ル其ノ要求コソ封建殘滓ノ古キ性癖ヲ勇敢ニ攻撃スル巨
彈ニアリ在滿吾等教育問題ノ正當性ノ爲メ眞ノ叫ビ
ト云フヘキヲアル

同志等――吾等今面鷄林學校學生大會ノ同盟休學
及其ノ顛末ヲ更ニ見タ、所謂教育者ト自處スル彼等トシ
テ天眞爛漫タル幼稚ナル學生等ニ對シ容恕シ能ハサル
暴言暴行其ノ行動コソ教育ノ見地社會的見地ヨリ
吾等ハ無慈悲ナル悲觀ト斷乎タル解決ヲナケレハナラヌ

B11

鷄林學校々當局

同志等

同志等

B11

同志等――鷄林學校々長李寬一、教師曹振清、尹徹等
ハタクトモ社會的ニ重大ナル責任ヲ負ヒ吾等ノ予
弟ヲ指導スヘキ教育者ノ一分子ニアルヤ、然ル
ニ今面ノ事件ニ對シ學生側カ設或惡イニレテ正
當ナル良策ヲ講究シ自分等ノ過誤ナキヤ、若シ徹底
的ニ自省シテ教育者ノ立場、社會的立場ニ於テ解決
スヘキ何等ノ意氣ナク幼稚ナル學生等ニ對シ「犬ノ
如キ奴等、汝等ヲ放ヘルヨリ犬ヲ教ヘルノ方好イト恣ニ
虐口スルヲ見レハ彼等ノ本質ヲ知ルヘキテアリ殊ニ
教師曹振清、尹徹等ハ支那軍人カ来ルコトヲ口實トシ
テ恐怖的威脅的政策ヲ以テ學生宿舍ヲ直接搜查シ
多數ナル秘密書類及「共產青年」ト云フ他ノ機關雜誌
迄押収シタノハコレコソ日本帝國主義前哨的行動ナル
同志等――彼等ハ如斯野卑ナル行動ヲ敢行シ幼稚ナ
ル學生ヲ無理ナル強圧の手飯ヲ以テ勇敢幼稚ナル
學生ノ氣分ヲ滅縮セシメ學校ノ梅印迄強制的ニ取
リタル事實ヲ見テモ學生ノ要求ハ飽ク迄モ正當ヲ

アリ強カワタコトカ証明レ得ラレ學校當局ノ過誤
カ幾ラモ秘密ニ潛在セルコトヲ主張スルモノヲア
ル同志等一吾等ハ此ノ問題ニ対スル態度ヲ如何ニ持
ツヘキカヲ學校職員會學父會及聲討ノミニ止ム
ヘキニアラスシテ根本教育問題ノ爲メ切キ吾等ノ
子弟ノ真正ナル指導ノ爲メ今回鶴林學校學生同盟
休學ニ對シ校長ヲ始メ教師曹振清尹徽等ニ社會的
ニ断子タル責任ヲ負ハシメハナラヌコトヲ農民
青年學生及一般同志等ニ徹ス
青少年封建的抑壓ト絶對抗爭シヨウ
封建式奴隸教育ト抗爭シヨウ
鶴林學校學生同盟休學ヲ擁護應援シヨウ
鶴林學校々當局ノ過誤ヲ社會的ニ断子トシテ処罰シヨウ
支那統治軍走狗彼ヲ爲シタル教員曹振清尹徽等ヲ社會的ニ埋葬シヨウ
一九三〇年五月十二日

在滿農民同盟吉林支部青年部委員會

B11

I-0850